

富山市立小・中学校の再編に関する市民アンケート調査 調査結果

I. 調査の概要

1. 実施概要

1) 実施主体

富山市教育委員会

2) 調査対象

市内に現住する満 18 歳以上 80 歳未満の男性・女性から無作為抽出によって選出した 5,000 人の市民

3) 調査方法

郵送により、アンケート調査票を配布・回収

4) 調査期間

令和 2 年 8 月 5 日～8 月 24 日

5) 配布数及び回収数

配布数 5,000 通

回収数 2,211 通（回収率 44.2%）

2. 調査項目

1) 回答者の属性

- ・性別
- ・年齢
- ・職業
- ・居住地
- ・同居する家族のうち未就学児～高校生の有無
- ・直近 1 年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った目的

2) 小・中学校の規模について

- ・市内の学校数や学校規模についての考え
- ・小規模校の良さについての考え
- ・小規模校の課題についての考え
- ・小学校において適切と思う学級数
- ・中学校において適切と思う学級数

3) 通学時間と方法について

- ・小学生の通学時間についての考え
- ・小学生の通学方法についての考え
- ・中学生の通学時間についての考え
- ・中学生の通学方法についての考え

4) 小・中学校の再編について

- ・再編の推進についての考え
- ・再編の推進についての考えの理由
- ・再編を進めるうえで配慮すべきと思う点

5) 今後の学校教育について

- ・再編を進めるにあたって学校教育で力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいこと

6) 学校再編についての自由意見

II. 集計結果（単純集計）

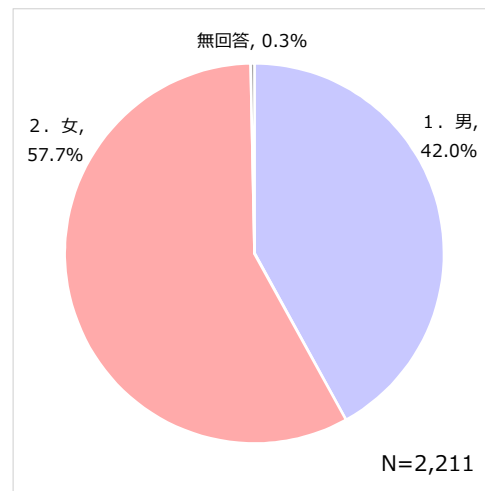
問 1 あなた自身のことについてお聞きます。

問 1－1 あなたの性別について教えてください。（1つに○）

回答者の性別については、「男性」が 42.0%、「女性」が 57.7%だった。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 男	928	42.0%
2. 女	1,276	57.7%
無回答	7	0.3%
回答者総数	2,211	100.0%

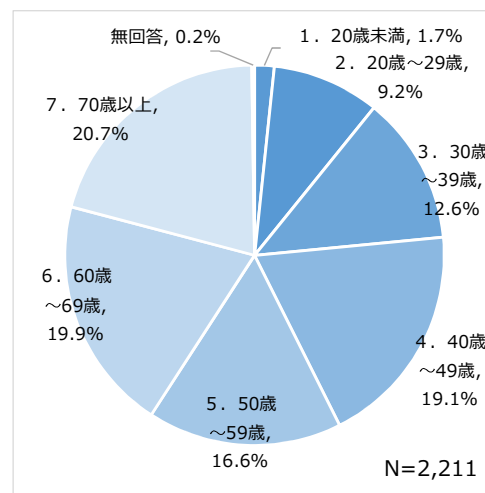


問 1－2 あなたの年齢について教えてください。（1つに○）

回答者の年齢については、「70歳以上」の割合が最も高く（20.7%）、次いで「60～69歳」（19.9%）、「40～49歳」（19.1%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 20歳未満	37	1.7%
2. 20歳～29歳	203	9.2%
3. 30歳～39歳	279	12.6%
4. 40歳～49歳	423	19.1%
5. 50歳～59歳	366	16.6%
6. 60歳～69歳	441	19.9%
7. 70歳以上	457	20.7%
無回答	5	0.2%
回答者総数	2,211	100.0%

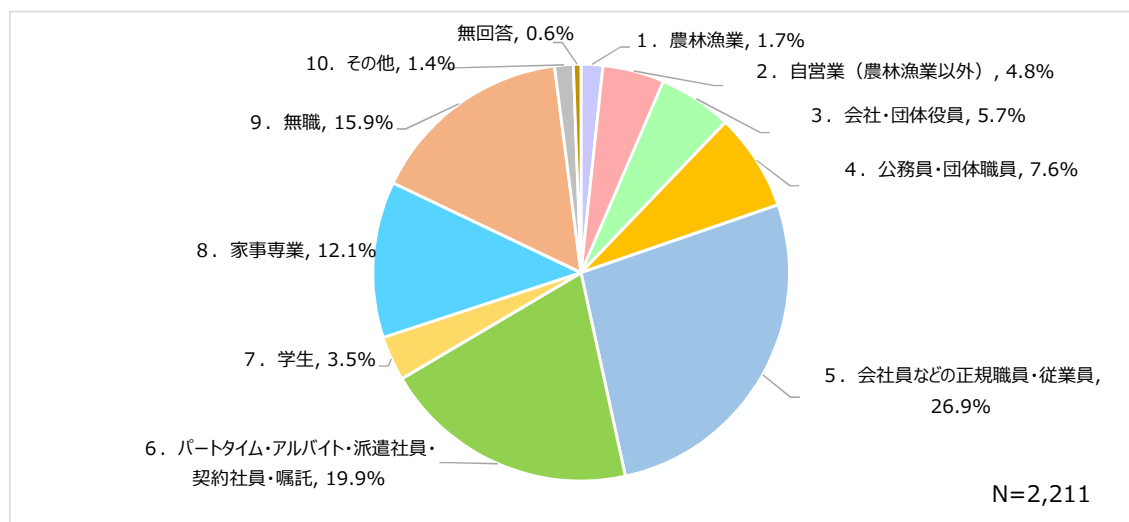


問 1－3 あなたの職業について教えてください。（1つに○）

回答者の職業については、「会社などの正規職員・従業員」の割合が最も高く（26.9%）、次いで「パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託」（19.9%）、「無職」（15.9%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 農林漁業	37	1.7%
2. 自営業（農林漁業以外）	106	4.8%
3. 会社・団体役員	126	5.7%
4. 公務員・団体職員	167	7.6%
5. 会社員などの正規職員・従業員	594	26.9%
6. パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託	440	19.9%
7. 学生	77	3.5%
8. 家事専業	268	12.1%
9. 無職	351	15.9%
10. その他	32	1.4%
無回答	13	0.6%
回答者総数	2,211	100.0%

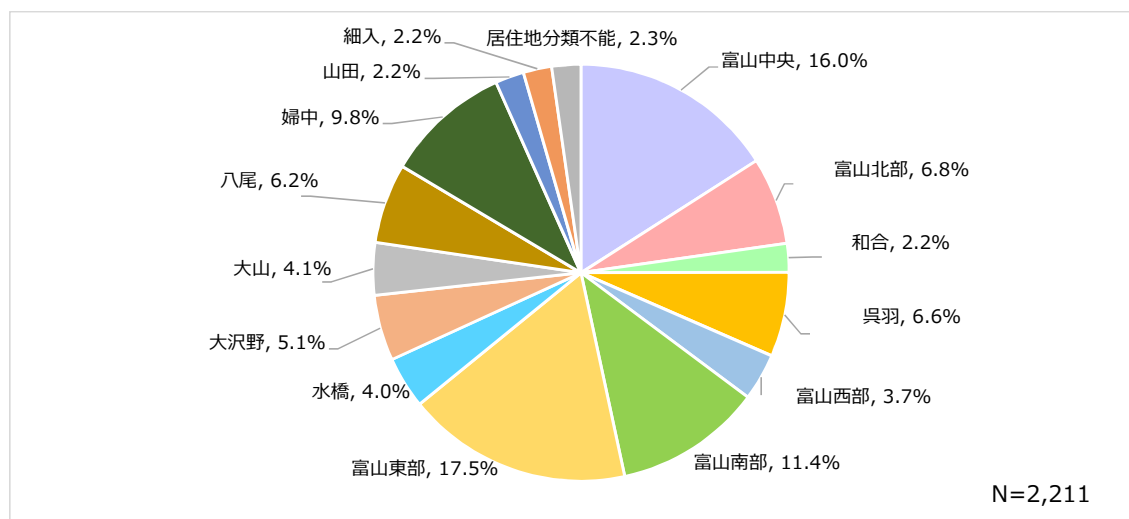


問１－４ あなたのご自宅の郵便番号又は町丁名を教えてください。

回答者の居住地について、地域生活圏別に見ると、「富山東部」の割合が最も高く（17.2%）、次いで「富山中央」（15.6%）、「富山南部」（11.3%）となっている。

（自由回答）

地域生活圏	回答数	割合
富山中央	353	16.0%
富山北部	150	6.8%
和合	49	2.2%
呉羽	145	6.6%
富山西部	81	3.7%
富山南部	253	11.4%
富山東部	387	17.5%
水橋	89	4.0%
大沢野	113	5.1%
大山	90	4.1%
八尾	137	6.2%
婦中	216	9.8%
山田	49	2.2%
細入	49	2.2%
居住地分類不能	50	2.3%
回答者総数	2,211	100.0%

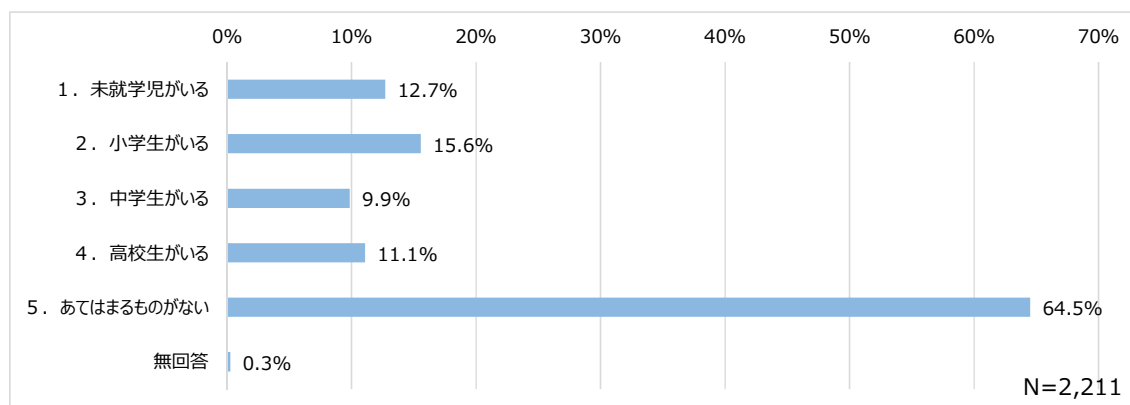


問 1 - 5 あなたの同居するご家族について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

回答者が同居する家族については、「小学生がいる」と回答した回答者は 15.6%、「中学生がいる」と回答した回答者は 9.9%だった。また、「(未就学児・小学生・中学生・高校生に) あてはまるものがない」と回答した回答者は 64.5%だった。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児がいる	281	12.7%
2. 小学生がいる	344	15.6%
3. 中学生がいる	218	9.9%
4. 高校生がいる	245	11.1%
5. あてはまるものがない	1,426	64.5%
無回答	6	0.3%
回答者総数	2,211	



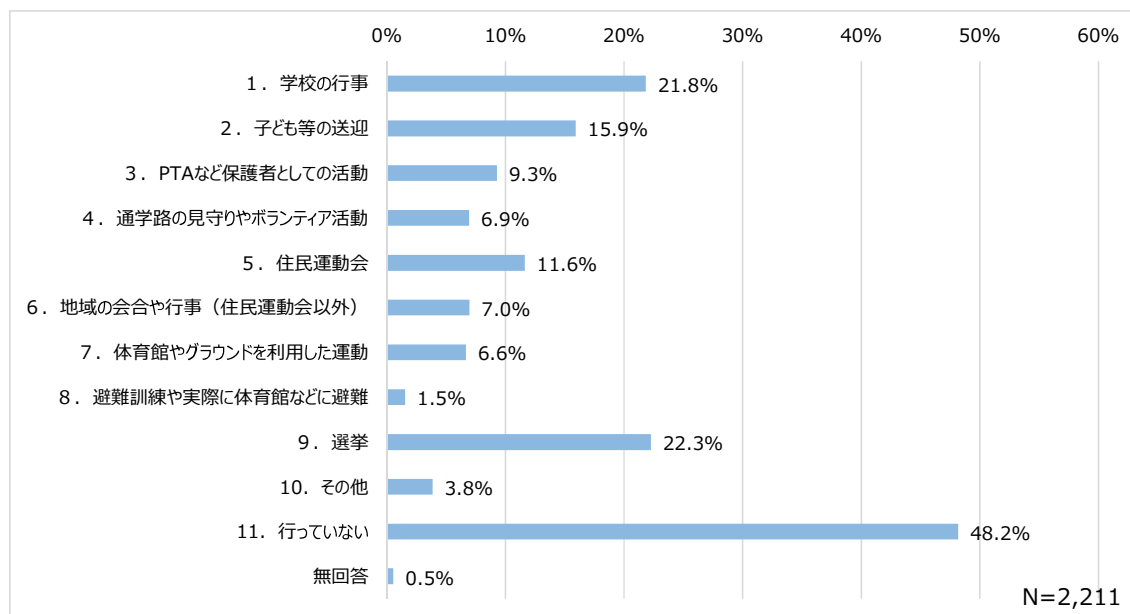
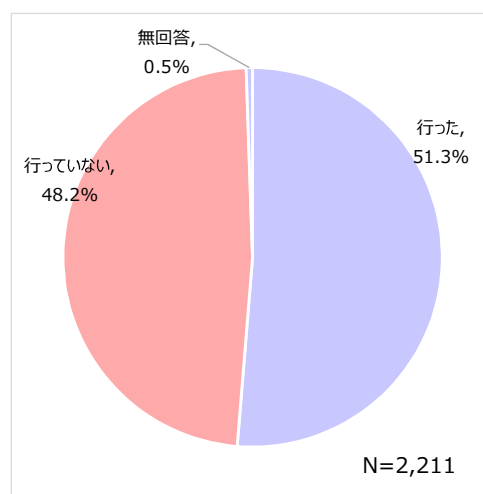
問 1－6 この１年間に、あなたの校区の小学校や中学校へどのような目的で行きましたか。（あてはまるものすべてに○）

直近１年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った回答者は 51.3%だった。

小・中学校へ行った目的については、「選挙」の回答割合が最も高く（22.3%）、次いで「学校の行事」（21.8%）、
「子ども等の送迎」（15.9%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1. 学校の行事	483	21.8%
2. 子ども等の送迎	352	15.9%
3. PTAなど保護者としての活動	205	9.3%
4. 通学路の見守りやボランティア活動	153	6.9%
5. 住民運動会	257	11.6%
6. 地域の会合や行事（住民運動会以外）	154	7.0%
7. 体育館やグラウンドを利用した運動	147	6.6%
8. 避難訓練や実際に体育館などに避難	34	1.5%
9. 選挙	492	22.3%
10. その他	85	3.8%
11. 行っていない	1,065	48.2%
無回答	12	0.5%
回答者総数	2,211	



問2 小・中学校の学校規模についてお聞きます。

問2-1 富山市内の今の学校数や学校規模について、①～③の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（1つに○）

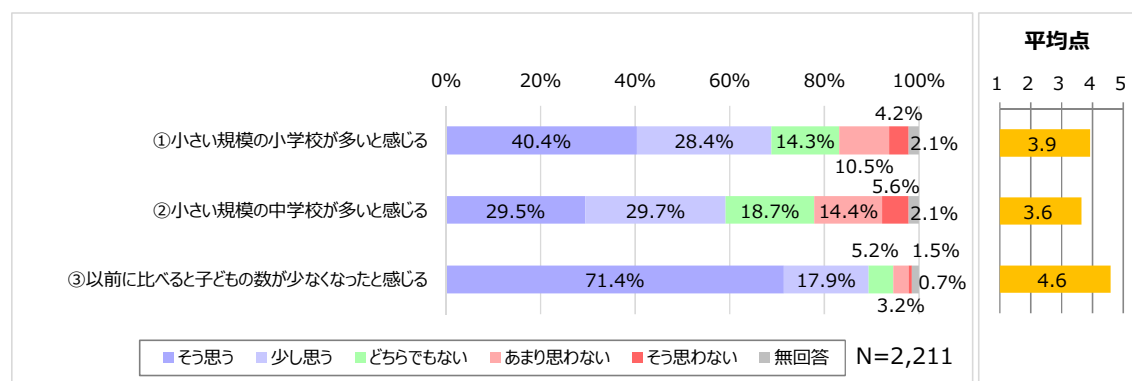
「小さい規模の小学校が多いと感じる」かについて、「そう思う」の割合は40.4%、「少し思う」の割合は28.4%だった。

「小さい規模の中学校が多いと感じる」かについて、「そう思う」の割合は29.5%、「少し思う」の割合は29.7%だった。

「以前に比べると子どもの数が少なくなったと感じる」かについて、「そう思う」の割合は71.4%、「少し思う」の割合は17.9%だった。

(単回答)

項目	回答数 ※ () 内は割合						回答者総数	平均点 (無回答除く) ※
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう 思わない	無回答		
①小さい規模の小学校が多いと感じる	893 (40.4%)	628 (28.4%)	317 (14.3%)	233 (10.5%)	93 (4.2%)	47 (2.1%)	2,211 (100%)	3.9
②小さい規模の中学校が多いと感じる	652 (29.5%)	656 (29.7%)	414 (18.7%)	318 (14.4%)	124 (5.6%)	47 (2.1%)	2,211 (100%)	3.6
③以前に比べると子どもの数が少なくなったと感じる	1,579 (71.4%)	396 (17.9%)	115 (5.2%)	71 (3.2%)	16 (0.7%)	33 (1.5%)	2,210 (100%)	4.6



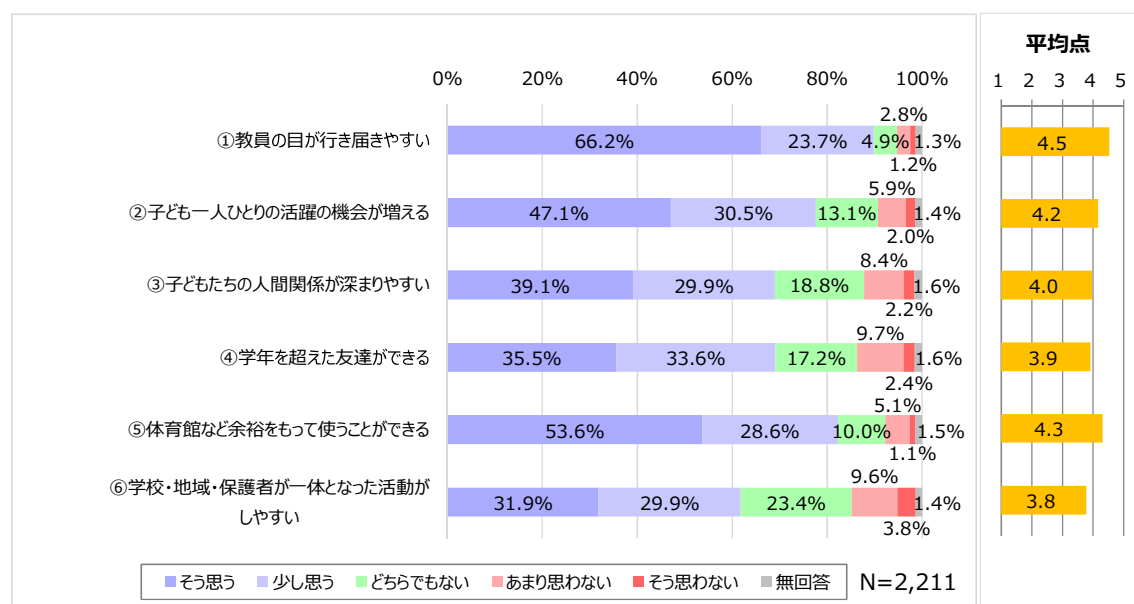
※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問 2 - 2 小規模校の良さについて、①～⑥の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（1つに○）

小規模校の良さについては、「教員の目が行き届きやすい」ことが、「そう思う」（66.2%）と「少し思う」（23.7%）を足した割合が最も高く、次いで「体育館など余裕をもって使うことができる」（そう思う：53.6%、少し思う：28.6%）「子ども一人ひとりの活躍の機会が増える」（そう思う：47.1%、少し思う：30.5%）となっている。

（単回答）

項目	回答数 ※（ ）内は割合						回答者総数	平均点 （無回答除く）※
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう 思わない	無回答		
①教員の目が行き届きやすい	1,463 (66.2%)	523 (23.7%)	109 (4.9%)	61 (2.8%)	26 (1.2%)	29 (1.3%)	2,211 (100%)	4.5
②子ども一人ひとりの活躍の 機会が増える	1,041 (47.1%)	675 (30.5%)	289 (13.1%)	130 (5.9%)	44 (2.0%)	32 (1.4%)	2,211 (100%)	4.2
③子どもたちの人間関係が 深まりやすい	864 (39.1%)	662 (29.9%)	415 (18.8%)	185 (8.4%)	49 (2.2%)	36 (1.6%)	2,211 (100%)	4.0
④学年を超えた友達ができる	786 (35.5%)	742 (33.6%)	381 (17.2%)	215 (9.7%)	52 (2.4%)	35 (1.6%)	2,211 (100%)	3.9
⑤体育館など余裕をもって使う ことができる	1186 (53.6%)	633 (28.6%)	221 (10.0%)	113 (5.1%)	25 (1.1%)	33 (1.5%)	2,211 (100%)	4.3
⑥学校・地域・保護者が一体となっ た活動がしやすい	705 (31.9%)	661 (29.9%)	518 (23.4%)	212 (9.6%)	85 (3.8%)	30 (1.4%)	2,211 (100%)	3.8



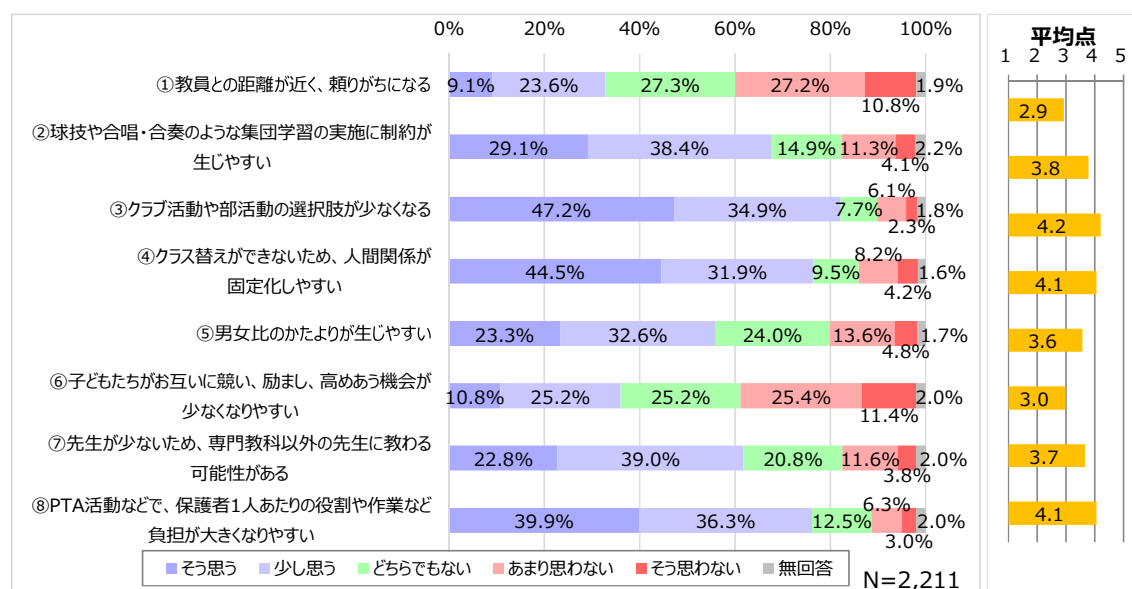
※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問2-3 小規模校の課題について、①～⑧の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（1つに○）

小規模校の課題については、「クラブ活動や部活動の選択肢が少なくなる」ことが、「そう思う」（47.2%）と「少し思う」（34.9%）を足した割合が最も高く、次いで「PTA 活動などで、保護者1人あたりの役割や作業など負担が大きくなりやすい」（そう思う：39.9%、少し思う：36.3%）「クラス替えができないため、人間関係が固定化しやすい」（そう思う：44.5%、少し思う：31.9%）となっている。

（単回答）

項目	回答数 ※（ ）内は割合						回答者総数	平均点 （無回答除く）※
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう 思わない	無回答		
①教員との距離が近く、頼りがちになる	202 (9.1%)	522 (23.6%)	604 (27.3%)	601 (27.2%)	239 (10.8%)	43 (1.9%)	2,211 (100%)	2.9
②球技や合唱・合奏のような 集団学習の実施に制約が生じやすい	644 (29.1%)	849 (38.4%)	329 (14.9%)	250 (11.3%)	90 (4.1%)	49 (2.2%)	2,211 (100%)	3.8
③クラブ活動や部活動の選択肢が 少なくなる	1,043 (47.2%)	772 (34.9%)	171 (7.7%)	134 (6.1%)	51 (2.3%)	40 (1.8%)	2,211 (100%)	4.2
④クラス替えができないため、 人間関係が固定化しやすい	985 (44.5%)	705 (31.9%)	210 (9.5%)	182 (8.2%)	93 (4.2%)	36 (1.6%)	2,211 (100%)	4.1
⑤男女比のかたよりが生じ やすい	516 (23.3%)	720 (32.6%)	530 (24.0%)	300 (13.6%)	107 (4.8%)	38 (1.7%)	2,211 (100%)	3.6
⑥子どもたちがお互いに競い、 励まし、高めあう機会が少 くなりやすい	238 (10.8%)	557 (25.2%)	558 (25.2%)	561 (25.4%)	253 (11.4%)	44 (2.0%)	2,211 (100%)	3.0
⑦先生が少ないため、専門教科以 外の先生に教わる可能性がある	504 (22.8%)	862 (39.0%)	459 (20.8%)	257 (11.6%)	85 (3.8%)	44 (2.0%)	2,211 (100%)	3.7
⑧PTA活動などで、保護者1人あ たりの役割や作業など負担が大 きくなりやすい	882 (39.9%)	802 (36.3%)	276 (12.5%)	140 (6.3%)	67 (3.0%)	44 (2.0%)	2,211 (100%)	4.1



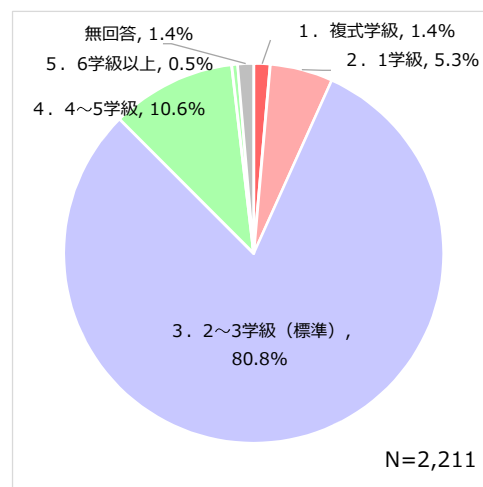
※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問2－4 小学校では、1 学年あたりどの程度の学級数が適切と思いますか。（1 つに○）

小学校において適切と思う学級数については、「2～3 学級」の割合が最も高く（80.8%）、次いで「4～5 学級」（10.6%）、「1 学級」（5.3%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 複式学級	31	1.4%
2. 1学級	118	5.3%
3. 2～3学級（標準）	1,786	80.8%
4. 4～5学級	235	10.6%
5. 6学級以上	11	0.5%
無回答	30	1.4%
回答者総数	2,211	100.0%

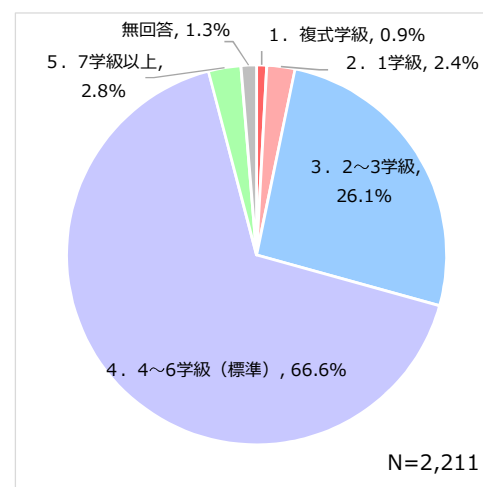


問2－5 中学校では、1 学年あたりどの程度の学級数が適切と思いますか。（1 つに○）

中学校において適切と思う学級数については、「4～6 学級」の割合が最も高く（66.6%）、次いで「2～3 学級」（26.1%）、「7 学級以上」（2.8%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 複式学級	19	0.9%
2. 1学級	53	2.4%
3. 2～3学級	576	26.1%
4. 4～6学級（標準）	1,473	66.6%
5. 7学級以上	61	2.8%
無回答	29	1.3%
回答者総数	2,211	100.0%



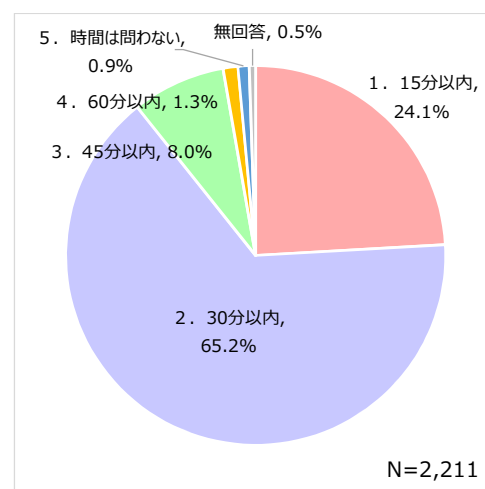
問3 小・中学生にとって望ましい通学時間と通学方法についてお聞きます。

問3-1 小学生の片道の通学時間はどのくらいまでが許容範囲だと思いますか。(1つに○)

小学生の通学時間については、「30分以内」が許容範囲と考える割合が最も高く（65.2%）、次いで「15分以内」（24.1%）、「45分以内」（8.0%）となっている。

(単回答)

選択肢	回答数	割合
1. 15分以内	533	24.1%
2. 30分以内	1,441	65.2%
3. 45分以内	176	8.0%
4. 60分以内	28	1.3%
5. 時間は問わない	21	0.9%
無回答	12	0.5%
回答者総数	2,211	100.0%

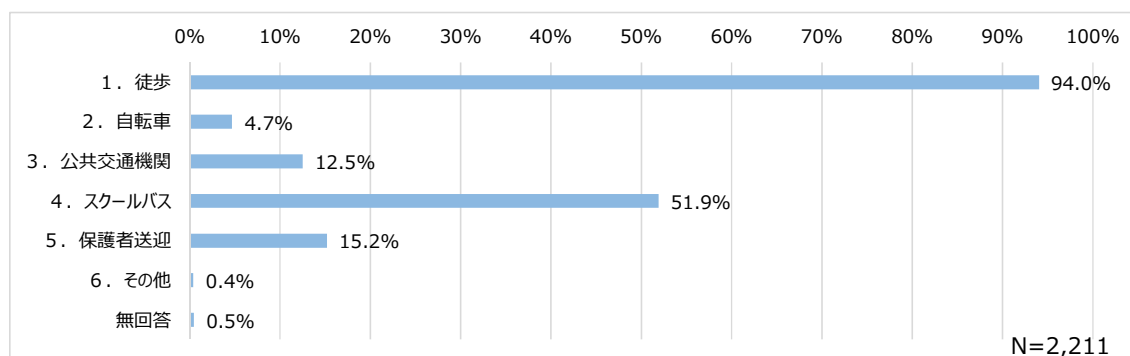


問3-2 小学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。(望ましいと思うものすべてに○)

小学生の望ましい通学方法については、「徒歩」の割合が最も高く（94.0%）、次いで「スクールバス」（51.9%）、「保護者送迎」（15.2%）となっている。

(複数回答)

選択肢	回答数	割合
1. 徒歩	2,079	94.0%
2. 自転車	104	4.7%
3. 公共交通機関	277	12.5%
4. スクールバス	1,148	51.9%
5. 保護者送迎	336	15.2%
6. その他	9	0.4%
無回答	10	0.5%
回答者総数	2,211	100.0%

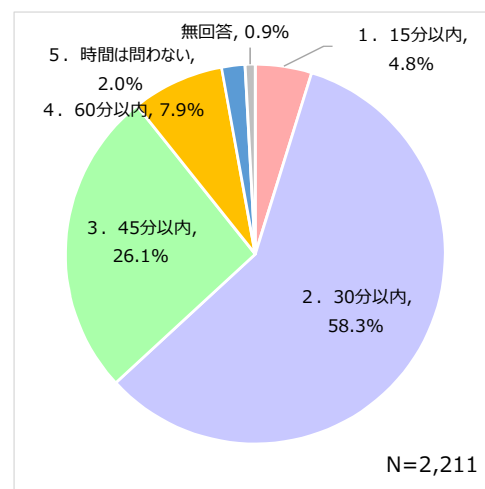


問3－3 中学生の片道の通学時間はどのくらいまでが許容範囲だと思いますか。（1つに○）

中学生の通学時間については、「30分以内」が許容範囲と考える割合が最も高く（58.3%）、次いで「45分以内」（26.1%）、「60分以内」（7.9%）となっている。

（単回答）

選択肢	回答数	割合
1. 15分以内	106	4.8%
2. 30分以内	1,290	58.3%
3. 45分以内	578	26.1%
4. 60分以内	174	7.9%
5. 時間は問わない	44	2.0%
無回答	19	0.9%
回答者総数	2,211	100.0%

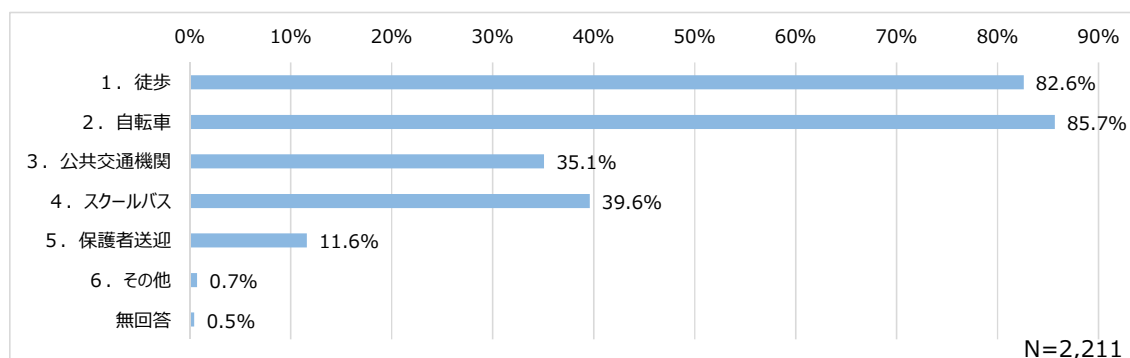


問3－4 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（望ましいと思うものすべてに○）

中学生の望ましい通学方法については、「自転車」の割合が最も高く（85.7%）、次いで「徒歩」（82.6%）、「スクールバス」（39.6%）となっている。

（複数回答）

選択肢	回答数	割合
1. 徒歩	1,826	82.6%
2. 自転車	1,894	85.7%
3. 公共交通機関	776	35.1%
4. スクールバス	876	39.6%
5. 保護者送迎	256	11.6%
6. その他	16	0.7%
無回答	10	0.5%
回答者総数	2,211	



問4 小・中学校の再編についてお聞きます。

問4－1 将来の子どもたちが学びやすい学校規模とするために、富山市の小・中学校の再編はどのようにしていくことが望ましいと思いますか。(1つに○)

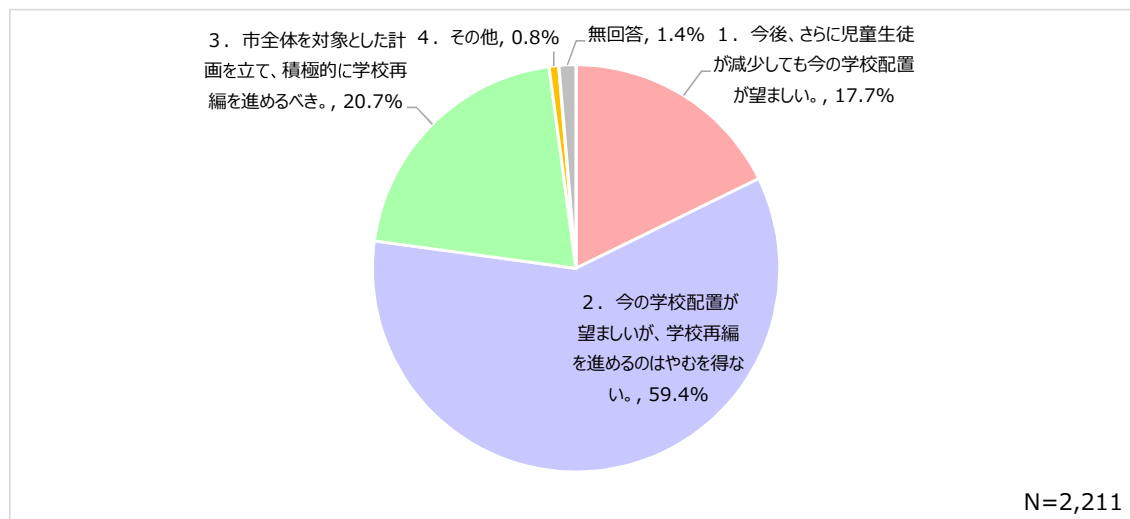
小・中学校の再編については、「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむをえない」の割合が最も高く（59.4%）、次いで「市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき」（20.7%）、「今後、さらに児童生徒数が減少しても今の学校配置が望ましい」（17.7%）となっている。

(単回答)		
選択肢	回答数	割合
1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	392	17.7%
2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	1,314	59.4%
3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	458	20.7%
4. その他	17	0.8%
無回答	30	1.4%
回答者総数	2,211	100.0%

→問 4－2

→問 4－3

→問 4－3



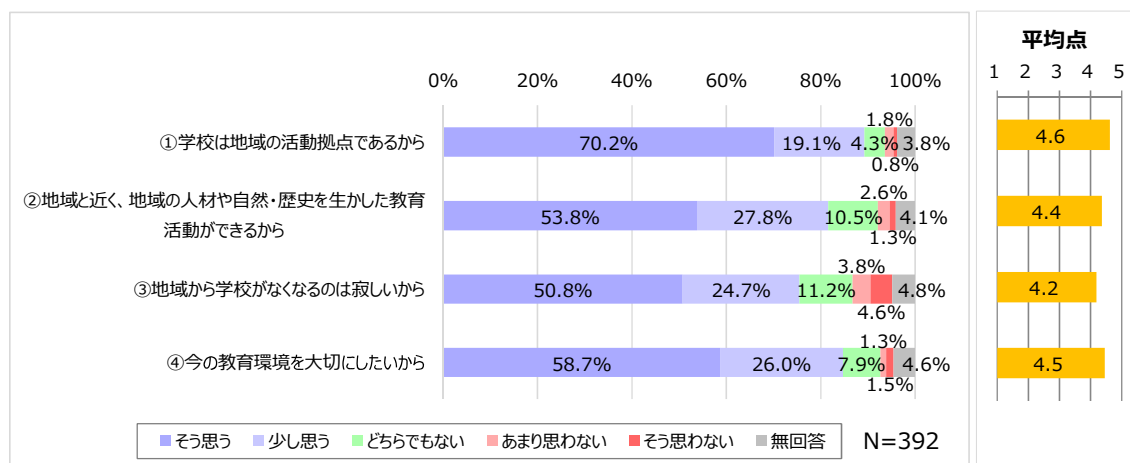
(次の問は、問４－１で、「１」を選択した方にお聞きます。)

問４－２ 問４－１で、「１」の「今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。」を選択した理由として、①～④の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(１つに○)

問４－１で「今後さらに児童生徒数が減少しても今の学校配置が望ましい」を選択した理由については、「学校は地域の活動拠点であるから」が、「そう思う」(70.2%)と「少し思う」(19.1%)を足した割合が最も高く、次いで「今の教育環境を大切にしたいから」(そう思う：58.7%、少し思う：26.0%)、「地域と近く、地域の人材や自然・歴史を活かした教育活動ができるから」(そう思う：53.8%、少し思う：27.8%)となっている。

(単回答)

項目	回答数 ※ () 内は割合						回答者総数	平均点 (無回答除く) ※
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう 思わない	無回答		
①学校は地域の活動拠点であるから	275 (70.2%)	75 (19.1%)	17 (4.3%)	7 (1.8%)	3 (0.8%)	15 (3.8%)	392 (100.0%)	4.6
②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	211 (53.8%)	109 (27.8%)	41 (10.5%)	10 (2.6%)	5 (1.3%)	16 (4.1%)	392 (100.0%)	4.4
③地域から学校がなくなるのは寂しいから	199 (50.8%)	97 (24.7%)	44 (11.2%)	15 (3.8%)	18 (4.6%)	19 (4.8%)	392 (100.0%)	4.2
④今の教育環境を大切にしたいから	230 (58.7%)	102 (26.0%)	31 (7.9%)	5 (1.3%)	6 (1.5%)	18 (4.6%)	392 (100.0%)	4.5



※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

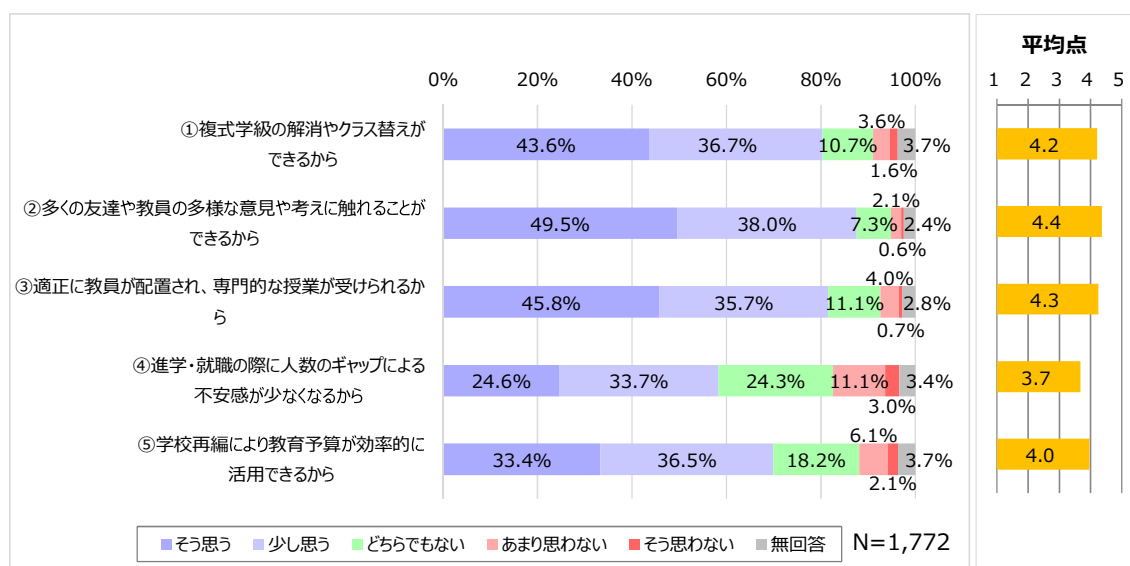
（次の問は、問４－１で、「２」または「３」を選択した方にお聞きます。）

問４－３ 問４－１で、「２」の「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。」、または「３」の「市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。」を選択した理由として、①～⑤の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（１つに○）

問４－１で「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむをえない」、または「市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき」を選択した理由については、「多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから」が、「そう思う」（49.5%）と「少し思う」（38.0%）を足した割合が最も高く、次いで「適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから」（そう思う：45.8%、少し思う：35.7%）、「複式学級の解消やクラス替えができるから」（そう思う：43.6%、少し思う：36.7%）となっている。

（単回答）

項目	回答数 ※（ ）内は割合						回答者総数	平均点 （無回答除く）※
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう 思わない	無回答		
①複式学級の解消やクラス替えができるから	772 (43.6%)	651 (36.7%)	190 (10.7%)	64 (3.6%)	29 (1.6%)	66 (3.7%)	1,772 (100%)	4.2
②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	878 (49.5%)	674 (38.0%)	129 (7.3%)	38 (2.1%)	10 (0.6%)	43 (2.4%)	1,772 (100%)	4.4
③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	812 (45.8%)	633 (35.7%)	196 (11.1%)	70 (4.0%)	12 (0.7%)	49 (2.8%)	1,772 (100%)	4.3
④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	436 (24.6%)	597 (33.7%)	430 (24.3%)	196 (11.1%)	53 (3.0%)	60 (3.4%)	1,772 (100%)	3.7
⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	591 (33.4%)	647 (36.5%)	323 (18.2%)	108 (6.1%)	38 (2.1%)	65 (3.7%)	1,772 (100%)	4.0



※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

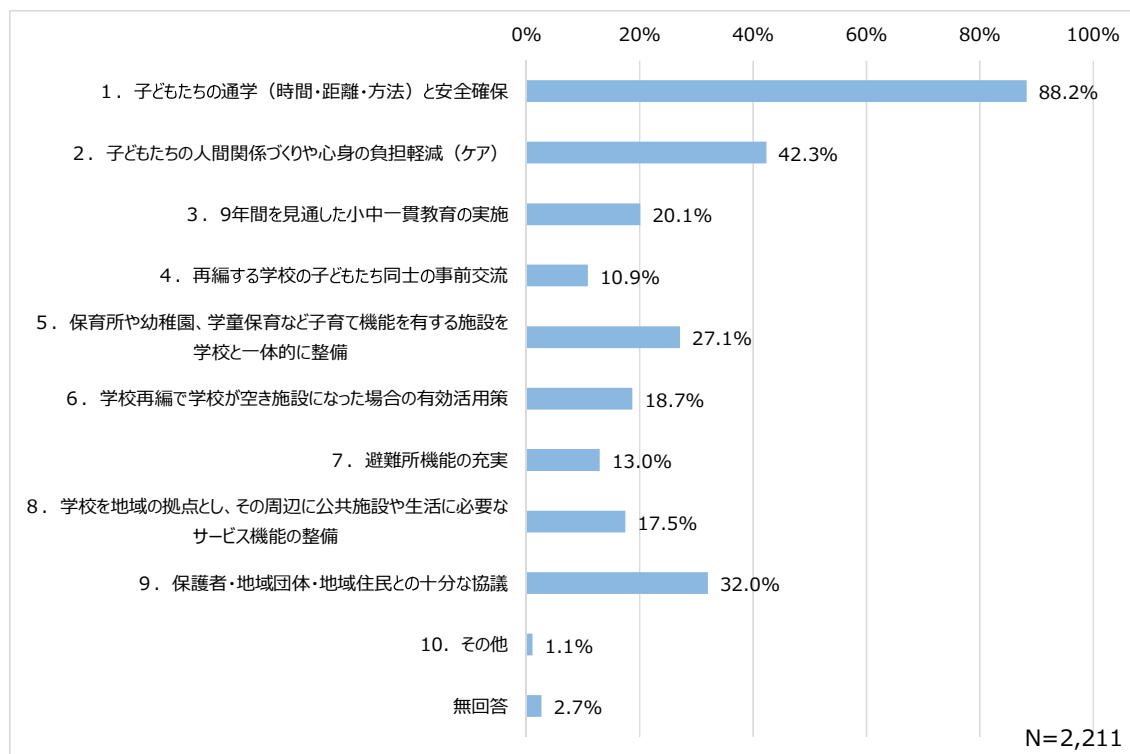
(次の問は、すべての方にお聞きます。)

問4-4 学校再編を進めるには、どのような点に配慮すべきと思われますか。(最大3つまで○)

再編を進めるうえで配慮すべきと思う点については、「子どもたちの通学(時間・距離・方法)と安全確保」の割合が最も高く(88.2%)、次いで「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減(ケア)」(42.3%)、「保護者・地域団体・地域住民との十分な協議」(32.0%)となっている。

(複数回答・最大3つまで)

選択肢	回答数	割合
1. 子どもたちの通学(時間・距離・方法)と安全確保	1,951	88.2%
2. 子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減(ケア)	936	42.3%
3. 9年間を見通した小中一貫教育の実施	445	20.1%
4. 再編する学校の子どもたち同士の事前交流	240	10.9%
5. 保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備	599	27.1%
6. 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策	414	18.7%
7. 避難所機能の充実	287	13.0%
8. 学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の整備	386	17.5%
9. 保護者・地域団体・地域住民との十分な協議	708	32.0%
10. その他	24	1.1%
無回答	59	2.7%
回答者総数	2,211	



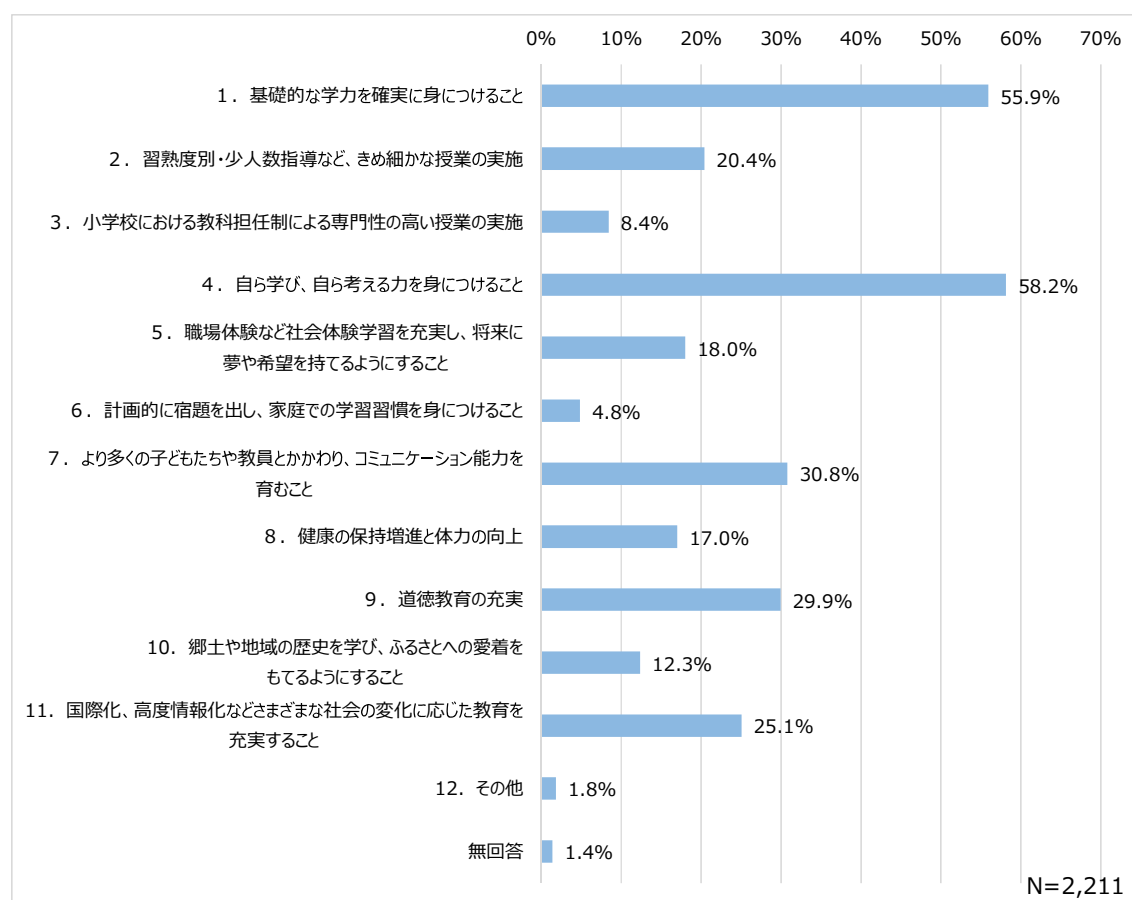
問5 今後の学校教育についてお聞きます。

今後、学校再編を進めるにあたって、学校教育で特に力を入れてほしいこと、これから取り組んでほしいことを教えてください。
(最大3つまで○)

再編を進めるにあたって、学校教育で力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいことについては、「自ら学び、自ら考える力を身につけること」の割合が最も高く（58.2%）、次いで「基礎的な学力を確実に身につけること」（55.9%）、「より多くの子どもたちや教員とかかわり、コミュニケーション能力を育むこと」（30.8%）となっている。

(複数回答・最大3つまで)

選択肢	回答数	割合
1. 基礎的な学力を確実に身につけること	1,237	55.9%
2. 習熟度別・少人数指導など、きめ細かな授業の実施	451	20.4%
3. 小学校における教科担任制による専門性の高い授業の実施	186	8.4%
4. 自ら学び、自ら考える力を身につけること	1,286	58.2%
5. 職場体験など社会体験学習を充実し、将来に夢や希望を持てるようにすること	398	18.0%
6. 計画的に宿題を出し、家庭での学習習慣を身につけること	107	4.8%
7. より多くの子どもたちや教員とかかわり、コミュニケーション能力を育むこと	681	30.8%
8. 健康の保持増進と体力の向上	376	17.0%
9. 道徳教育の充実	662	29.9%
10. 郷土や地域の歴史を学び、ふるさとへの愛着をもてるようにすること	273	12.3%
11. 国際化、高度情報化などさまざまな社会の変化に応じた教育を充実すること	554	25.1%
12. その他	40	1.8%
無回答	31	1.4%
回答者総数	2,211	



問6 学校再編についてご意見をご自由にお書きください。

学校再編に関する意見については、686 件の回答があった。以下に、回答の例を挙げる。

○学校再編の是非や、再編の全体的な方針に関する事柄

- 子供の数が少なくなっているので学校再編は必要だろう。子供の事を第一に考え学校再編を行ってほしい。（男性・40 代・自営業（農林漁業以外））
- 小なすぎる学校は統合は望ましいが、大規模校の方も問題がある気がする。自分の子は大規模校には通わせたくない。むずかしいと思うが程度なクラス数の標準規模校の再編が望ましいと思う。（女性・40 代・パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託）
- 各地域に根付いた学校で学ぶ、友人とつながることで、子供のベースができていくと思うので、無理に再編していくことはないと思う。各々の特色をとらえても良いのではないのでしょうか。（女性・30 代・会社員などの正規職員・従業員）
- 学校の規模（学級数）を定めている学校教育法施行規則は、近年の学生数や社会環境等を考慮のうえ学級数を見直し・運用されているのでしょうか？学校統合の話をする前に、規則そのものが近年の状に合致しているのか議論すべきだと思います。（60 代・男性・無職）

○児童生徒の通学に関する事柄

- 再編されると通学時間が増えると思う。安全を考えた方法をしっかり検討してほしい。（男性・50 代・会社員などの正規職員・従業員）
- 学校再編により子供の通学が一番心配です。自転車通学も、大雨や雪のときはかわいそうに思う。結局親が送迎することになるのではないかと思います。スクールバス等の方法がないのであれば再編は親にも子供達にも負担になると思う。（女性・50 代・パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託）
- 学校再編により通学時間が長くなるのは仕方がないが、家が遠いという理由でクラブ、部活動等が平等にできないのはかわいそうなので、スクールバスの時間などしっかり協議してほしい。（女性・30 代・会社員などの正規職員・従業員）

○児童生徒をとりまく学校環境に関する事柄

- 地元の小学校・中学校が無くなる事はとても悲しいですが、現在の在籍数等を見ると、小人数でのクラスを6年間過ごすのは、もったいないかなと思います。いじめ等の問題もありますが、少人数ならではのコミュニケーションのとり方の難しさもあると思います。再編には致しかたないのかな…と思いますが、交通面での安全や、本人達が良い経験・学びができる学校になってほしいと思います。（女性・20 代・パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託）
- 団体スポーツ、集団学習、クラブ活動など制約が生じて子供たちがやりたい事が選べない！（早急に再編必要）（男性・50 代・自営業（農林漁業以外））
- 自分自身が小、中学校と大規模校に通学していたので、娘が通う小規模校は、色々な面でメリットがあると考えています。教室にも生徒間の距離に余裕もありストレスもないのではと思います。全てにおいて100点はないので、デメリットがあればその度補ってほしいと思います。（男性・40 代・会社員などの正規職員・従業員）
- 学校再編に伴い子ども達が一番不安や期待があると思われますので、保護者、地域団体、住民より、子どもファーストで、話を進めてほしいと思います。また、カウンセリングなど心のケアも必要不可欠だと思いますので十分な配慮が必要かと考えます。（男性・40 代・会社員などの正規職員・従業員）

○学校再編による地域への影響に関する事柄

- 小学校は、地域住民の心の寄りどころであり、心の交流をはかる場所であったと思う。地域コミュニティの基点であるが、たとえ再編されてもその使命が少しでものこるようにすべきだ。自然災害が多発する昨今、避難場所の設置も大切なことであることを忘れないでほしい。地域住民を守るのは行政の責任だからである。（女性・70代以上・家事専業）
- 児童・生徒数の減少に伴い、いろいろな面で学校再編は仕方ないと思う反面、地域とのつながりが希薄になってしまうのが寂しいと感じてしまいます。（女性・50代・自営業（農林漁業以外））
- 学校は地域の活動拠点で有り、情報の発信基地でも有ります。今のままで、小中一貫校と（義務教育学校）して残して欲しい。（男性・60代・パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託）
- 再編するにしても廃校舎は、地域の為に残してほしい。昔は、選挙の投票など小学校で行われたのに、今では、小さな町内の小さな公民館で行われるので、車も駐車できないし、とても不便です。小学校なり、中学校なり、もっと活用すべき。（男性・50代・公務員・団体職員）

○地域住民等との協議に関する事柄

- 人口減少・少子化で学校再編が不可避であることは、大方の人がうすうすは分かっているはず。ただし、特に小学校は地区の結節点であり続けてきた歴史から、心情的な抵抗が大きい。ここが難しいところ。地区の結節点としての機能を、統廃合後の施設の活用法、公民館等とし調整。町内会との連携などで、どう補完し、理解を得ることができるかが鍵となるように思う。（男性・50代・会社員などの正規職員・従業員）
- 行政は住民の信頼が一番大切。信頼に応えられる再編説明が重要。教育に係る経費を節減に求めるのではなく「明日を創る人材を育成する」投資に使うために再編することをポイントにする。（男性・70代以上・無職）

○教員の配置や負担軽減に関する事柄

- 昨今、市の財政状況の厳しさや、教員の不足が取りざたされている中で、学校再編を行えば施設維持費の低減、教員の不足の解消に寄与できると思う。（男性・30代・公務員・団体職員）
- 先生方の心身の負担が軽くなり少しでも今より余裕ができれば良い教育につながると思います。そういった面でも学校再編は必要と考えます。それと、昔からのつながりや考え方は否定しませんが、子供たちの未来の為に変化すべきこともあると思います。（男性・40代・会社員などの正規職員・従業員）
- 少子化が進む中で、学校再編は必要不可欠。スケールメリットを活用すれば、教職員・保護者の負担が減り、本来業務に専念できる。（女性・30代・会社員などの正規職員・従業員）

○財政に関する事柄

- 大規模校も小規模校も経験したが、どちらもメリット・デメリットがあり、どこでも子供は育つので、予算との折り合いが気になる。（女性・30代・会社・団体役員）
- 人数の割に経費や管理費が負担増で財源を圧迫するのでやむを得ない。（女性・70代以上・無職）

○その他

- 再編によって生じる課題をICTで解決するという視点も必要かと思います。特に中学校であれば遠隔授業も可能かと感じます。（男性・50代・会社員などの正規職員・従業員）
- 老朽化など建物に不安があったり、近接している小規模校を先に統合するのが良いと思う。小規模校であっても、個性的な教育方針をかかげて存続させるのも良いと思う。職業訓練予備校のような性質もおもしろいと思う。校舎を新築するような場合は赤ん坊から高齢者までが利用できるような施設として設置するのが良いと思う。（女性・40代・農林漁業）
- 市内小学校間、中学校間で合唱発表会、大縄飛び大会等をして学校間での交流があれば、万が一、学校再編はなくても親近感が生れ、児童間の感情がスムーズになるのではと思います。（女性・70代以上・無職）

Ⅲ. 集計結果（クロス集計）

ここでは、以下の質問を軸にして、クロス集計（質問１×質問２）を行った。

質問１	質問２
問１－１（性別）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－２（年齢）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－３（職業）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－４（居住地（14 地域生活圏に集約）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－４（居住地（学校規模別に集約）※ ¹ ）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－４（居住地（14 地域生活圏における小規模小学校の割合で集約）※ ² ）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－５（同居する家族のうち未就学児～高校生の有無（小中学生の有無に集約））※ ³	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－６（直近 1 年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った目的）	問４－１（再編の推進についての考え）
問１－４（居住地（学校規模別に集約）※ ¹ ）	問４－２（再編の推進についての考えの理由）
問１－４（居住地（14 地域生活圏における小規模小学校の割合で集約）※ ² ）	問４－２（再編の推進についての考えの理由）
問１－５（同居する家族のうち未就学児～高校生の有無（小中学生の有無に集約））※ ³	問４－２（再編の推進についての考えの理由）
問１－４（居住地（学校規模別に集約）※ ¹ ）	問４－３（再編の推進についての考えの理由）
問１－４（居住地（14 地域生活圏における小規模小学校の割合で集約）※ ² ）	問４－３（再編の推進についての考えの理由）
問１－５（同居する家族のうち未就学児～高校生の有無（小中学生の有無に集約））※ ³	問４－３（再編の推進についての考えの理由）
問１－４（居住地（学校規模別に集約）※ ¹ ）	問４－４（再編を進めるうえで配慮すべきと思う点）
問１－４（居住地（14 地域生活圏における小規模小学校の割合で集約）※ ² ）	問４－４（再編を進めるうえで配慮すべきと思う点）
問１－５（同居する家族のうち未就学児～高校生の有無（小中学生の有無に集約））※ ³	問４－４（再編を進めるうえで配慮すべきと思う点）
問１－４（居住地（学校規模別に集約）※ ¹ ）	問５（再編を進めるにあたって学校教育で力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいこと）
問１－４（居住地（14 地域生活圏における小規模小学校の割合で集約）※ ² ）	問５（再編を進めるにあたって学校教育で力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいこと）
問１－５（同居する家族のうち未就学児～高校生の有無（小中学生の有無に集約））※ ³	問５（再編を進めるにあたって学校教育で力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいこと）
問４－１（再編の推進についての考え）	問２－４（小学校において適切と思う学級数）
問４－１（再編の推進についての考え）	問２－５（中学校において適切と思う学級数）
問３－１（小学生の通学時間についての考え）	問３－２（小学生の通学方法についての考え）
問３－３（中学生の通学時間についての考え）	問３－４（中学生の通学方法についての考え）

※１：回答者が居住する校区の小学校が、令和２年時点で、「小規模校（11 学級以下）」か、「標準規模（12～18 学級）または大規模校（19 学級以上）」か。

※２：回答者が居住する地域生活圏について、令和２年時点で、「小規模校の小学校の割合が 58%以上の地域」か、「小規模校の小学校の割合が 58%未満の地域」か。（令和２年時点で富山市内の小学校の 58%（38 校/65 校）が小規模校となっているため、58%を基準とした）

※３：「同居する家族に小学生または中学生がいる」か、「同居する家族に小学生も中学生もいない」か。

(参考) 市内小学校の学校規模及び、各地域生活圏の小規模小学校の割合（令和２年時点）

地域生活圏	小学校名	学校規模
富山中央	芝園小学校	標準規模校
	中央小学校	標準規模校
	西田地方小学校	小規模校
	光陽小学校	標準規模校
	柳町小学校	小規模校
	奥田北小学校	標準規模校
	奥田小学校	標準規模校
	堀川小学校	標準規模校
富山北部	浜黒崎小学校	小規模校
	岩瀬小学校	小規模校
	萩浦小学校	小規模校
	大広田小学校	標準規模校
	針原小学校	小規模校
	豊田小学校	大規模校
和合	四方小学校	小規模校
	八幡小学校	小規模校
	草島小学校	小規模校
	倉垣小学校	小規模校
呉羽	呉羽小学校	標準規模校
	長岡小学校	小規模校
	寒江小学校	小規模校
	古沢小学校	小規模校
	老田小学校	小規模校
	池多小学校	小規模校
富山西部	桜谷小学校	小規模校
	五福小学校	標準規模校
	神明小学校	小規模校
富山南部	堀川南小学校	大規模校
	蛭川小学校	大規模校
	新保小学校	小規模校
	熊野小学校	標準規模校
	月岡小学校	標準規模校
富山東部	東部小学校	標準規模校
	山室小学校	標準規模校
	山室中部小学校	標準規模校
	太田小学校	小規模校
	広田小学校	標準規模校
	新庄小学校	大規模校
	新庄北小学校	標準規模校
	藤ノ木小学校	大規模校
水橋	水橋中部小学校	小規模校
	水橋西部小学校	小規模校
	水橋東部小学校	小規模校
	三郷小学校	小規模校
	上条小学校	小規模校
大沢野	大沢野小学校	標準規模校
	大久保小学校	標準規模校
	船嶺小学校	小規模校
大山	上滝小学校	小規模校
	大庄小学校	小規模校
	福沢小学校	小規模校
	小見小学校	小規模校
八尾	八尾小学校	標準規模校
	杉原小学校	標準規模校
	保内小学校	小規模校
	檉尾小学校	小規模校
婦中	速星小学校	大規模校
	鶴坂小学校	大規模校
	朝日小学校	小規模校
	宮野小学校	小規模校
	古里小学校	小規模校
	音川小学校	小規模校
	神保小学校	小規模校
山田	山田小学校	小規模校
細入	神通碧小学校	小規模校

地域生活圏	小学校数	小規模小学校数	小規模小学校の割合
富山中央	8	2	25%
富山北部	6	4	67%
和合	4	4	100%
呉羽	6	5	83%
富山西部	3	2	67%
富山南部	5	1	20%
富山東部	8	1	13%
水橋	5	5	100%
大沢野	3	1	33%
大山	4	4	100%
八尾	4	2	50%
婦中	7	5	71%
山田	1	1	100%
細入	1	1	100%
市全域	65	38	58%

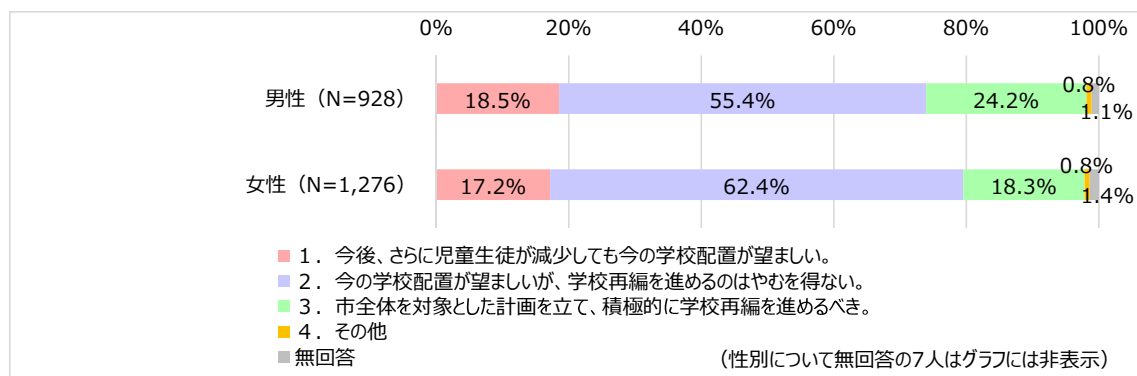
問４－１とのクロス集計

問４－１ 将来の子どもたちが学びやすい学校規模とするために、富山市の小・中学校の再編はどのようにしていくことが望ましいと思いますか。（１つに○）

問４－１－１） 回答者の性別による集計

ここでは、問１－１（回答者の性別に関する質問）を軸に、回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

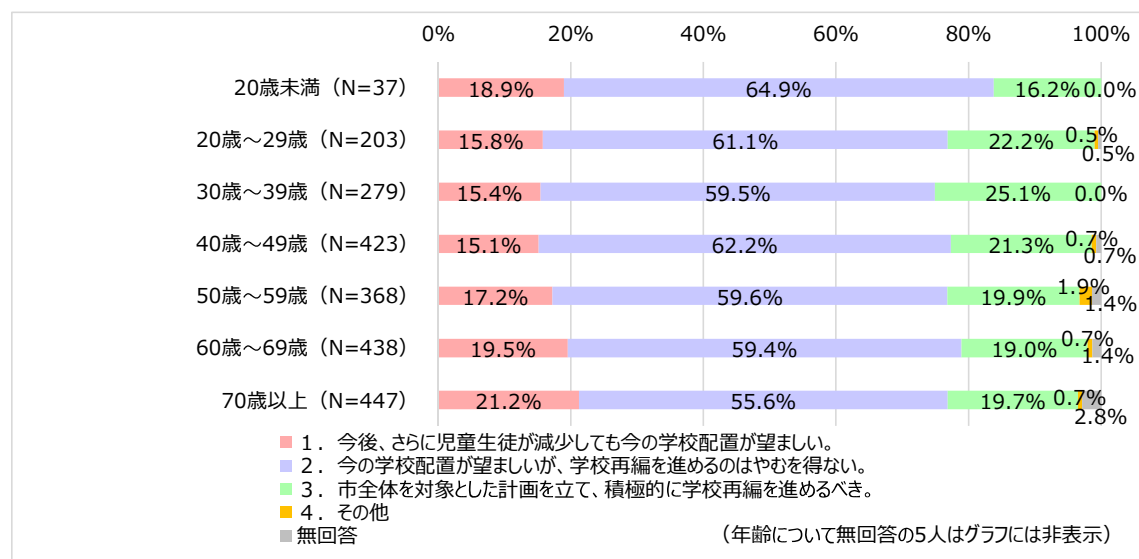
選択肢	(単回答)			
	男性 (N=928)	女性 (N=1,276)	性別無回答 (N=7)	回答者全体 (N=2,211)
１．今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	172 (18.5%)	219 (17.2%)	1 (14.3%)	392 (17.7%)
２．今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	514 (55.4%)	796 (62.4%)	4 (57.1%)	1,314 (59.4%)
３．市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	225 (24.2%)	233 (18.3%)	0 (0.0%)	458 (20.7%)
４．その他	7 (0.8%)	10 (0.8%)	0 (0.0%)	17 (0.8%)
無回答	10 (1.1%)	18 (1.4%)	2 (28.6%)	30 (1.4%)
回答者総数	928 (100%)	1,276 (100%)	7 (100%)	2,211 (100%)



問４－１－２） 回答者の年齢別による集計

ここでは、問１－２（回答者の年齢に関する質問）を軸に、回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

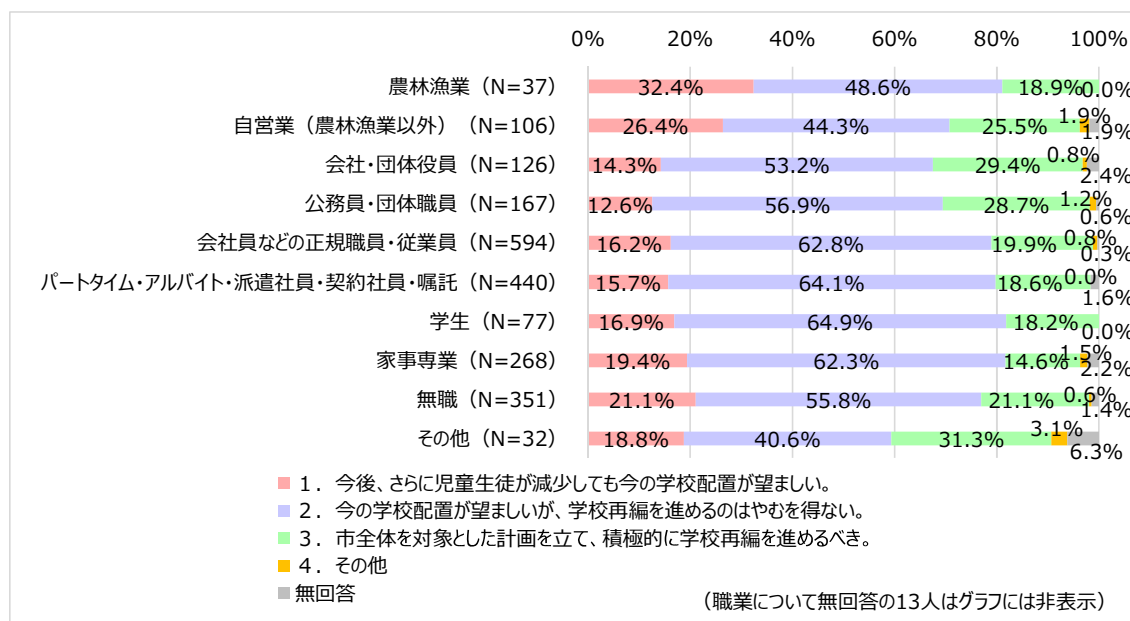
選択肢	(単回答)							
	20歳未満 (N=37)	20歳～29歳 (N=203)	30歳～39歳 (N=279)	40歳～49歳 (N=423)	50歳～59歳 (N=366)	60歳～69歳 (N=441)	70歳以上 (N=457)	回答者全体 (N=2,211)
1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	7 (18.9%)	32 (15.8%)	43 (15.4%)	64 (15.1%)	63 (17.2%)	86 (19.5%)	97 (21.2%)	392 (17.7%)
2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	24 (64.9%)	124 (61.1%)	166 (59.5%)	263 (62.2%)	218 (59.6%)	262 (59.4%)	254 (55.6%)	1,314 (59.4%)
3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	6 (16.2%)	45 (22.2%)	70 (25.1%)	90 (21.3%)	73 (19.9%)	84 (19.0%)	90 (19.7%)	458 (20.7%)
4. その他	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	7 (1.9%)	3 (0.7%)	3 (0.7%)	17 (0.8%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	5 (1.4%)	6 (1.4%)	13 (2.8%)	30 (1.4%)
回答者総数	37 (100.0%)	203 (100.0%)	279 (100.0%)	423 (100.0%)	366 (100.0%)	441 (100.0%)	457 (100.0%)	2,211 (100.0%)



問４－１－３） 回答者の職業別による集計

ここでは、問１－３（回答者の職業に関する質問）を軸に、回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

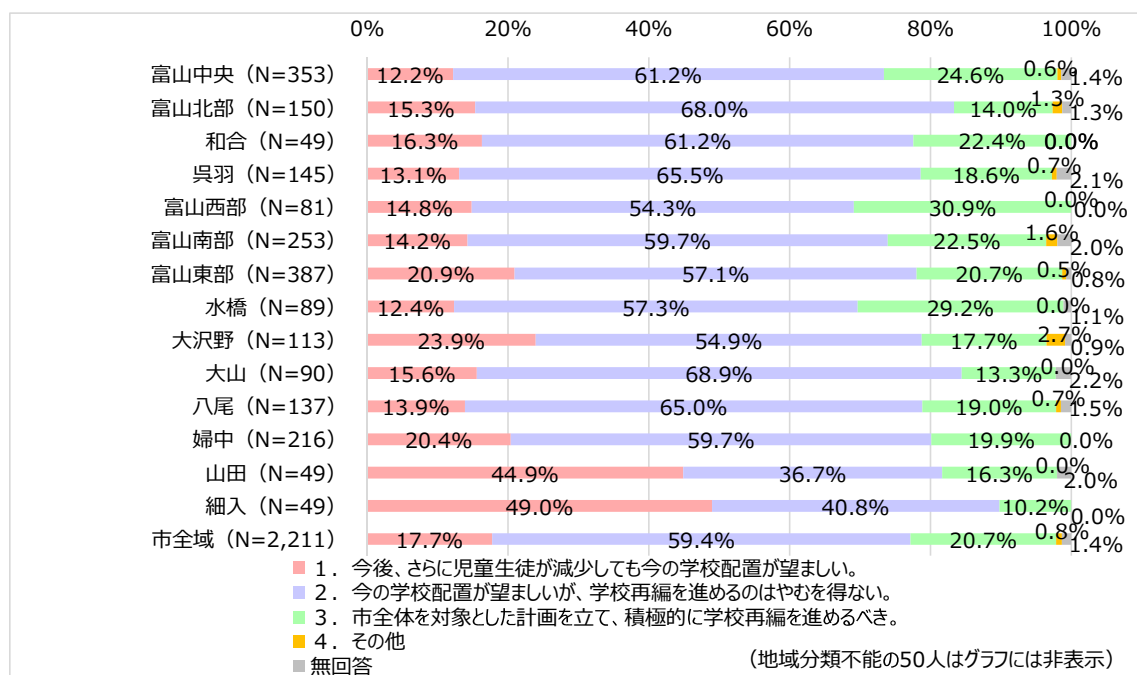
(単回答)												
選択肢	農林漁業 (N=37)	自営業 (農林漁業 以外) (N=106)	会社・団体役員 (N=126)	公務員・ 団体職員 (N=167)	会社員などの正 規職員・従業員 (N=594)	パートタイム・アル バイト・派遣社 員・契約社員 ・嘱託 (N=440)	学生 (N=77)	家事専業 (N=268)	無職 (N=351)	その他 (N=32)	職業無回答 (N=13)	回答者全体 (N=2,211)
１．今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	12 (32.4%)	28 (26.4%)	18 (14.3%)	21 (12.6%)	96 (16.2%)	69 (15.7%)	13 (16.9%)	52 (19.4%)	74 (21.1%)	6 (18.8%)	3 (23.1%)	392 (17.7%)
２．今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	18 (48.6%)	47 (44.3%)	67 (53.2%)	95 (56.9%)	373 (62.8%)	282 (64.1%)	50 (64.9%)	167 (62.3%)	196 (55.8%)	13 (40.6%)	6 (46.2%)	1,314 (59.4%)
３．市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	7 (18.9%)	27 (25.5%)	37 (29.4%)	48 (28.7%)	118 (19.9%)	82 (18.6%)	14 (18.2%)	39 (14.6%)	74 (21.1%)	10 (31.3%)	2 (15.4%)	458 (20.7%)
４．その他	0 (0.0%)	2 (1.9%)	1 (0.8%)	2 (1.2%)	5 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.5%)	2 (0.6%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	17 (0.8%)
無回答	0 (0.0%)	2 (1.9%)	3 (2.4%)	1 (0.6%)	2 (0.3%)	7 (1.6%)	0 (0.0%)	6 (2.2%)	5 (1.4%)	2 (6.3%)	2 (15.4%)	30 (1.4%)
回答者総数	37 (100%)	106 (100%)	126 (100%)	167 (100%)	594 (100%)	440 (100%)	77 (100%)	268 (100%)	351 (100%)	32 (100%)	13 (100%)	2,211 (100%)



問４－１－４） 回答者の居住地（14 地域生活圏）別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地を 14 地域生活圏別に分けてクロス集計を行った。

(単回答)																
選択肢	富山中央 (N=353)	富山北部 (N=150)	和合 (N=49)	呉羽 (N=145)	富山西部 (N=81)	富山南部 (N=253)	富山東部 (N=387)	水橋 (N=89)	大沢野 (N=113)	大山 (N=90)	八尾 (N=137)	婦中 (N=216)	山田 (N=49)	細入 (N=49)	地域 分類不能 (N=50)	市全域 (N=2,211)
1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	43 (12.2%)	23 (15.3%)	8 (16.3%)	19 (13.1%)	12 (14.8%)	36 (14.2%)	81 (20.9%)	11 (12.4%)	27 (23.9%)	14 (15.6%)	19 (13.9%)	44 (20.4%)	22 (44.9%)	24 (49.0%)	9 (18.0%)	392 (17.7%)
2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	216 (61.2%)	102 (68.0%)	30 (61.2%)	95 (65.5%)	44 (54.3%)	151 (59.7%)	221 (57.1%)	51 (57.3%)	62 (54.9%)	62 (68.9%)	89 (65.0%)	129 (59.7%)	18 (36.7%)	20 (40.8%)	24 (48.0%)	1,314 (59.4%)
3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	87 (24.6%)	21 (14.0%)	11 (22.4%)	27 (18.6%)	25 (30.9%)	57 (22.5%)	80 (20.7%)	26 (29.2%)	20 (17.7%)	12 (13.3%)	26 (19.0%)	43 (19.9%)	8 (16.3%)	5 (10.2%)	10 (20.0%)	458 (20.7%)
4. その他	2 (0.6%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	17 (0.8%)
無回答	5 (1.4%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	3 (0.8%)	1 (1.1%)	1 (0.9%)	2 (2.2%)	2 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	5 (10.0%)	30 (1.4%)
回答者総数	353 (100%)	150 (100%)	49 (100%)	145 (100%)	81 (100%)	253 (100%)	387 (100%)	89 (100%)	113 (100%)	90 (100%)	137 (100%)	216 (100%)	49 (100%)	49 (100%)	50 (100%)	2,211 (100%)

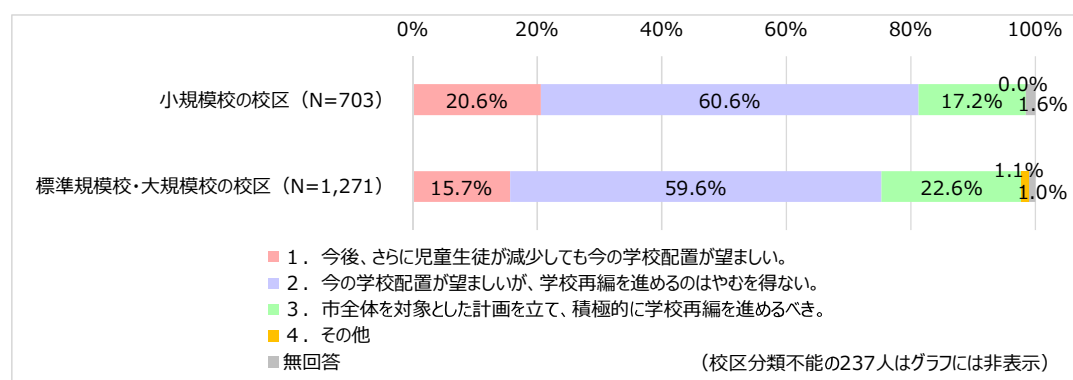


問４－１－５） 回答者が居住する校区の小学校の学校規模別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる小学校区が、令和２年時点で小規模校（11 学級以下）の校区か、または標準規模校（12～18 学級）か大規模校（19 学級以上）の校区か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(単回答)

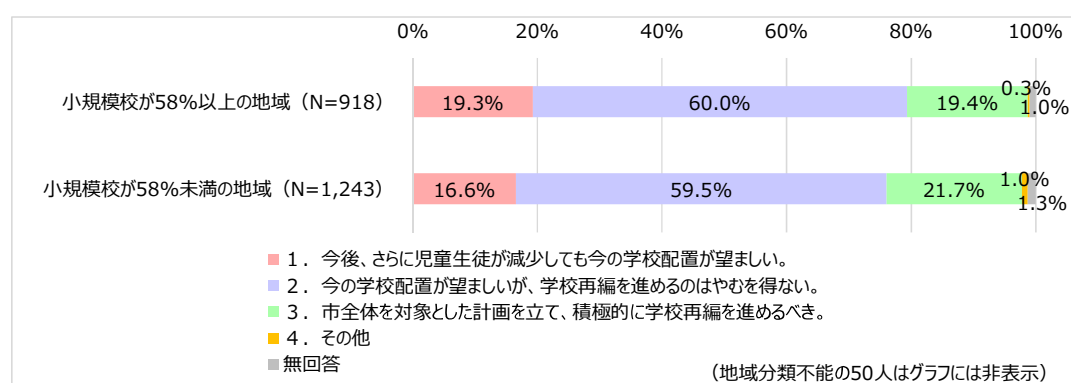
選択肢	小規模校の校区 (N=703)	標準規模校・大規模校 の校区 (N=1,271)	校区分類不能 (N=237)	市全域 (N=2,211)
1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	145 (20.6%)	199 (15.7%)	48 (20.3%)	392 (17.7%)
2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	426 (60.6%)	758 (59.6%)	130 (54.9%)	1,314 (59.4%)
3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	121 (17.2%)	287 (22.6%)	50 (21.1%)	458 (20.7%)
4. その他	0 (0.0%)	14 (1.1%)	3 (1.3%)	17 (0.8%)
無回答	11 (1.6%)	13 (1.0%)	6 (2.5%)	30 (1.4%)
回答者総数	703 (100%)	1,271 (100%)	237 (100%)	2,211 (100%)



問４－１－６） 回答者が居住する地域生活圏内の小規模小学校の割合別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる地域生活圏について、令和２年時点で小規模小学校の割合が５８％（富山市全体における小規模校の割合）以上の地域か、５８％未満の地域か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

選択肢	(単回答)			
	小規模校が58%以上の地域 (N=918)	小規模校が58%未満の地域 (N=1,243)	地域分類不能 (N=50)	市全域 (N=2,211)
１．今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	177 (19.3%)	206 (16.6%)	9 (18.0%)	392 (17.7%)
２．今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	551 (60.0%)	739 (59.5%)	24 (48.0%)	1,314 (59.4%)
３．市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	178 (19.4%)	270 (21.7%)	10 (20.0%)	458 (20.7%)
４．その他	3 (0.3%)	12 (1.0%)	2 (4.0%)	17 (0.8%)
無回答	9 (1.0%)	16 (1.3%)	5 (10.0%)	30 (1.4%)
回答者総数	918 (100%)	1,243 (100%)	50 (100%)	2,211 (100%)

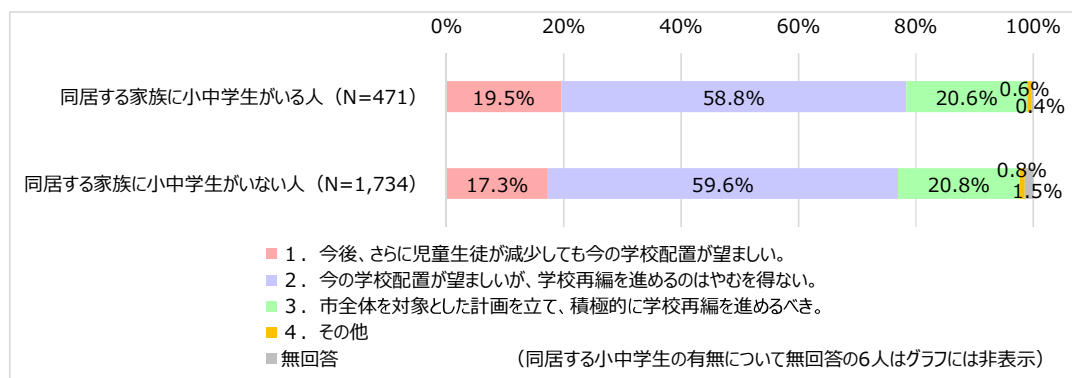


問４－１－７） 回答者が同居する家族における小中学生の有無による集計

ここでは、問１－５（回答者が同居する未就学児～高校生の有無に関する質問）に基づき、回答者が同居する家族に小学生または中学生がいるか、小学生も中学生もいないか、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(単回答)

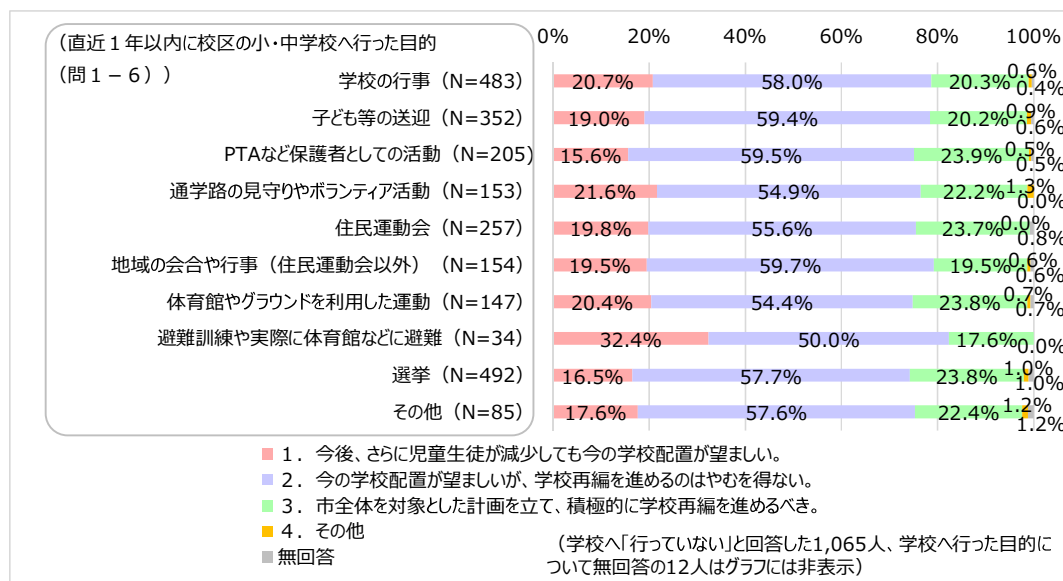
選択肢	同居する家族に 小中学生がいる人 (N=471)	同居する家族に 小中学生がいない人 (N=1,734)	同居する小中学生の 有無について無回答 (N=6)	回答者全体 (N=2,211)
１．今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	92 (19.5%)	300 (17.3%)	0 (0.0%)	392 (17.7%)
２．今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	277 (58.8%)	1,034 (59.6%)	3 (50.0%)	1,314 (59.4%)
３．市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	97 (20.6%)	360 (20.8%)	1 (16.7%)	458 (20.7%)
４．その他	3 (0.6%)	14 (0.8%)	0 (0.0%)	17 (0.8%)
無回答	2 (0.4%)	26 (1.5%)	2 (33.3%)	30 (1.4%)
回答者総数	471 (100%)	1,734 (100%)	6 (100%)	2,211 (100%)



問４－１－８） 回答者が直近１年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った目的別による集計

ここでは、問１－６（直近１年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った目的）に基づき、直近１年以内に居住地の校区の小・中学校へ行った目的ごとに回答者を分けてクロス集計を行った。

(単回答)													
選択肢	学校の行事 (N=483)	子ども等の送迎 (N=352)	PTAなど保護者としての活動 (N=205)	通学路の見守りやボランティア活動 (N=153)	住民運動会 (N=257)	地域の会合や行事（住民運動会以外） (N=154)	体育館やグラウンドを利用した運動 (N=147)	避難訓練や実際に体育館などに避難 (N=34)	選挙 (N=492)	その他 (N=85)	行っていない (N=1,065)	無回答 (N=12)	回答者全体 (N=2,211)
１．今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。	100 (20.7%)	67 (19.0%)	32 (15.6%)	33 (21.6%)	51 (19.8%)	30 (19.5%)	30 (20.4%)	11 (32.4%)	81 (16.5%)	15 (17.6%)	176 (16.5%)	2 (16.7%)	392 (17.7%)
２．今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。	280 (58.0%)	209 (59.4%)	122 (59.5%)	84 (54.9%)	143 (55.6%)	92 (59.7%)	80 (54.4%)	17 (50.0%)	284 (57.7%)	49 (57.6%)	639 (60.0%)	5 (41.7%)	1,314 (59.4%)
３．市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。	98 (20.3%)	71 (20.2%)	49 (23.9%)	34 (22.2%)	61 (23.7%)	30 (19.5%)	35 (23.8%)	6 (17.6%)	117 (23.8%)	19 (22.4%)	221 (20.8%)	3 (25.0%)	458 (20.7%)
４．その他	3 (0.6%)	3 (0.9%)	1 (0.5%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)	1 (1.2%)	9 (0.8%)	0 (0.0%)	17 (0.8%)
無回答	2 (0.4%)	2 (0.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)	1 (0.6%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)	1 (1.2%)	20 (1.9%)	2 (16.7%)	30 (1.4%)
回答者総数	483 (100%)	352 (100%)	205 (100%)	153 (100%)	257 (100%)	154 (100%)	147 (100%)	34 (100%)	492 (100%)	85 (100%)	1,065 (100%)	12 (100%)	2,211 (100%)



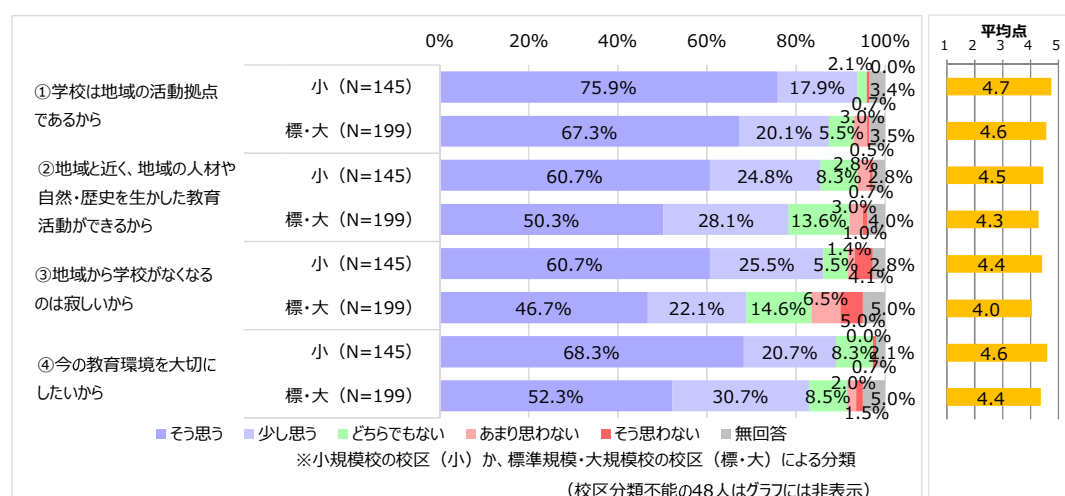
問４－２とのクロス集計

問４－２ 問４－１で、「１」の「今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。」を選択した理由として、①～④の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（１つに○）

問４－２－１） 回答者が居住する校区の小学校の学校規模別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる小学校校区が、令和２年時点で小規模校（11 学級以下）の校区か、または標準規模校（12～18 学級）か大規模校（19 学級以上）の校区か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

	項目	回答数						回答者総数	平均点 (無回答除く)*
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小規模校の校区	①学校は地域の活動拠点であるから	110 (75.9%)	26 (17.9%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	5 (3.4%)	145 (100%)	4.7
	②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	88 (60.7%)	36 (24.8%)	12 (8.3%)	4 (2.8%)	1 (0.7%)	4 (2.8%)	145 (100%)	4.5
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	88 (60.7%)	37 (25.5%)	8 (5.5%)	2 (1.4%)	6 (4.1%)	4 (2.8%)	145 (100%)	4.4
	④今の教育環境を大切にしたいから	99 (68.3%)	30 (20.7%)	12 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	3 (2.1%)	145 (100%)	4.6
標準規模校の校区	①学校は地域の活動拠点であるから	134 (67.3%)	40 (20.1%)	11 (5.5%)	6 (3.0%)	1 (0.5%)	7 (3.5%)	199 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	100 (50.3%)	56 (28.1%)	27 (13.6%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	8 (4.0%)	199 (100%)	4.3
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	93 (46.7%)	44 (22.1%)	29 (14.6%)	13 (6.5%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	199 (100%)	4.0
	④今の教育環境を大切にしたいから	104 (52.3%)	61 (30.7%)	17 (8.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	10 (5.0%)	199 (100%)	4.4
校区分類不能	①学校は地域の活動拠点であるから	31 (64.6%)	9 (18.8%)	3 (6.3%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)	3 (6.3%)	48 (100%)	4.5
	②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	23 (47.9%)	17 (35.4%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)	4 (8.3%)	48 (100%)	4.3
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	18 (37.5%)	16 (33.3%)	7 (14.6%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)	5 (10.4%)	48 (100%)	4.1
	④今の教育環境を大切にしたいから	27 (56.3%)	11 (22.9%)	2 (4.2%)	1 (2.1%)	2 (4.2%)	5 (10.4%)	48 (100%)	4.4
市全域	①学校は地域の活動拠点であるから	275 (70.2%)	75 (19.1%)	17 (4.3%)	7 (1.8%)	3 (0.8%)	15 (3.8%)	392 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	211 (53.8%)	109 (27.8%)	41 (10.5%)	10 (2.6%)	5 (1.3%)	16 (4.1%)	392 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	199 (50.8%)	97 (24.7%)	44 (11.2%)	15 (3.8%)	18 (4.6%)	19 (4.8%)	392 (100%)	4.2
	④今の教育環境を大切にしたいから	230 (58.7%)	102 (26.0%)	31 (7.9%)	5 (1.3%)	6 (1.5%)	18 (4.6%)	392 (100%)	4.5



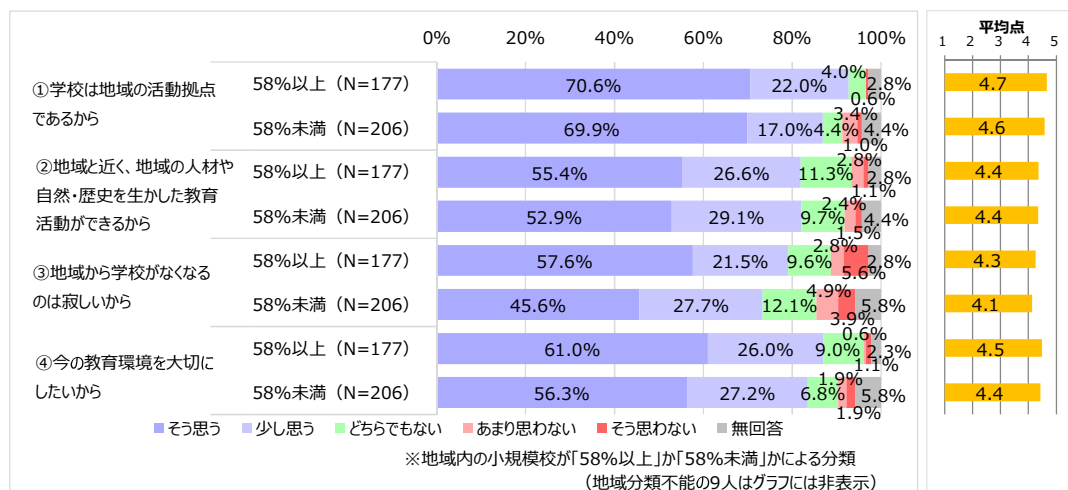
※平均点：回答を点数化（そう思う＝5、少し思う＝4、どちらでもない＝3、あまり思わない＝2、そう思わない＝1）し、加重平均点を算出。

問４－２－２） 回答者が居住する地域生活圏内の小規模小学校の割合別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる地域生活圏について、令和２年時点で小規模小学校の割合が５８％（富山市全体における小規模校の割合）以上の地域か、５８％未満の地域か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(単回答)

	項目	回答数						回答者総数	平均点 (無回答除く)*
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小規模校が ５８％ 以上の地域	①学校は地域の活動拠点であるから	125 (70.6%)	39 (22.0%)	7 (4.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	5 (2.8%)	177 (100%)	4.7
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	98 (55.4%)	47 (26.6%)	20 (11.3%)	5 (2.8%)	2 (1.1%)	5 (2.8%)	177 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	102 (57.6%)	38 (21.5%)	17 (9.6%)	5 (2.8%)	10 (5.6%)	5 (2.8%)	177 (100%)	4.3
	④今の教育環境を大切にしたいから	108 (61.0%)	46 (26.0%)	16 (9.0%)	1 (0.6%)	2 (1.1%)	4 (2.3%)	177 (100%)	4.5
小規模校が ５８％ 未満の地域	①学校は地域の活動拠点であるから	144 (69.9%)	35 (17.0%)	9 (4.4%)	7 (3.4%)	2 (1.0%)	9 (4.4%)	206 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	109 (52.9%)	60 (29.1%)	20 (9.7%)	5 (2.4%)	3 (1.5%)	9 (4.4%)	206 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	94 (45.6%)	57 (27.7%)	25 (12.1%)	10 (4.9%)	8 (3.9%)	12 (5.8%)	206 (100%)	4.1
	④今の教育環境を大切にしたいから	116 (56.3%)	56 (27.2%)	14 (6.8%)	4 (1.9%)	4 (1.9%)	12 (5.8%)	206 (100%)	4.4
地域分類 不能	①学校は地域の活動拠点であるから	6 (66.7%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	9 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	4 (44.4%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	9 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	3 (33.3%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	9 (100%)	4.1
	④今の教育環境を大切にしたいから	6 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	9 (100%)	4.7
市 全 域	①学校は地域の活動拠点であるから	275 (70.2%)	75 (19.1%)	17 (4.3%)	7 (1.8%)	3 (0.8%)	15 (3.8%)	392 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	211 (53.8%)	109 (27.8%)	41 (10.5%)	10 (2.6%)	5 (1.3%)	16 (4.1%)	392 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	199 (50.8%)	97 (24.7%)	44 (11.2%)	15 (3.8%)	18 (4.6%)	19 (4.8%)	392 (100%)	4.2
	④今の教育環境を大切にしたいから	230 (58.7%)	102 (26.0%)	31 (7.9%)	5 (1.3%)	6 (1.5%)	18 (4.6%)	392 (100%)	4.5

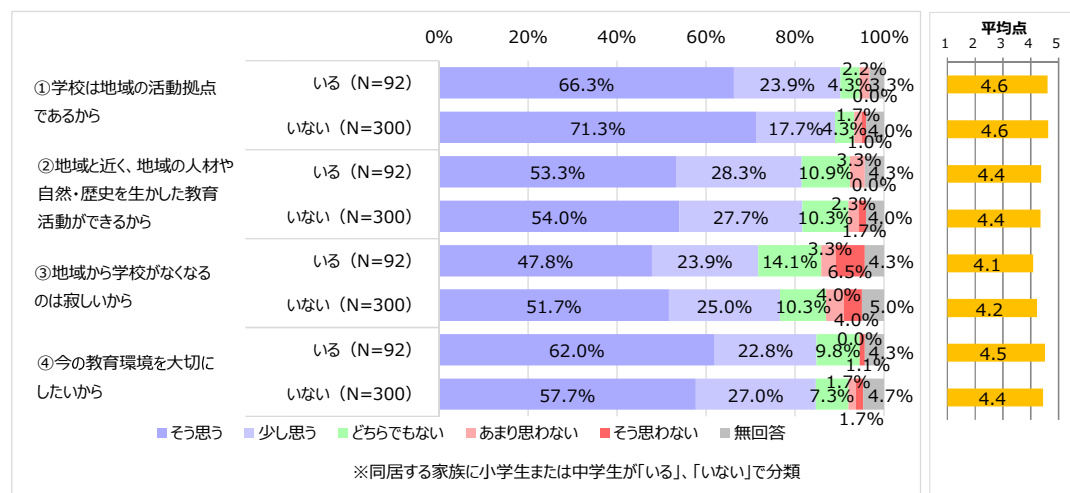


※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問４－２－３） 回答者が同居する家族における小中学生の有無による集計

ここでは、問１－５（回答者が同居する未就学児～高校生の有無に関する質問）に基づき、回答者が同居する家族に小学生または中学生がいるか、小学生も中学生もいないか、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

	項目	回答数						回答者総数	平均点 (無回答除く)*
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小 中 学 生 が い る	①学校は地域の活動拠点であるから	61 (66.3%)	22 (23.9%)	4 (4.3%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	3 (3.3%)	92 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	49 (53.3%)	26 (28.3%)	10 (10.9%)	3 (3.3%)	0 (0.0%)	4 (4.3%)	92 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	44 (47.8%)	22 (23.9%)	13 (14.1%)	3 (3.3%)	6 (6.5%)	4 (4.3%)	92 (100%)	4.1
	④今の教育環境を大切にしたいから	57 (62.0%)	21 (22.8%)	9 (9.8%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	4 (4.3%)	92 (100%)	4.5
小 中 学 生 が い な い	①学校は地域の活動拠点であるから	214 (71.3%)	53 (17.7%)	13 (4.3%)	5 (1.7%)	3 (1.0%)	12 (4.0%)	300 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	162 (54.0%)	83 (27.7%)	31 (10.3%)	7 (2.3%)	5 (1.7%)	12 (4.0%)	300 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	155 (51.7%)	75 (25.0%)	31 (10.3%)	12 (4.0%)	12 (4.0%)	15 (5.0%)	300 (100%)	4.2
	④今の教育環境を大切にしたいから	173 (57.7%)	81 (27.0%)	22 (7.3%)	5 (1.7%)	5 (1.7%)	14 (4.7%)	300 (100%)	4.4
回 答 者 全 体	①学校は地域の活動拠点であるから	275 (70.2%)	75 (19.1%)	17 (4.3%)	7 (1.8%)	3 (0.8%)	15 (3.8%)	392 (100%)	4.6
	②地域と近く、地域の人材や 自然・歴史を生かした教育活動ができるから	211 (53.8%)	109 (27.8%)	41 (10.5%)	10 (2.6%)	5 (1.3%)	16 (4.1%)	392 (100%)	4.4
	③地域から学校がなくなるのは寂しいから	199 (50.8%)	97 (24.7%)	44 (11.2%)	15 (3.8%)	18 (4.6%)	19 (4.8%)	392 (100%)	4.2
	④今の教育環境を大切にしたいから	230 (58.7%)	102 (26.0%)	31 (7.9%)	5 (1.3%)	6 (1.5%)	18 (4.6%)	392 (100%)	4.5



※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

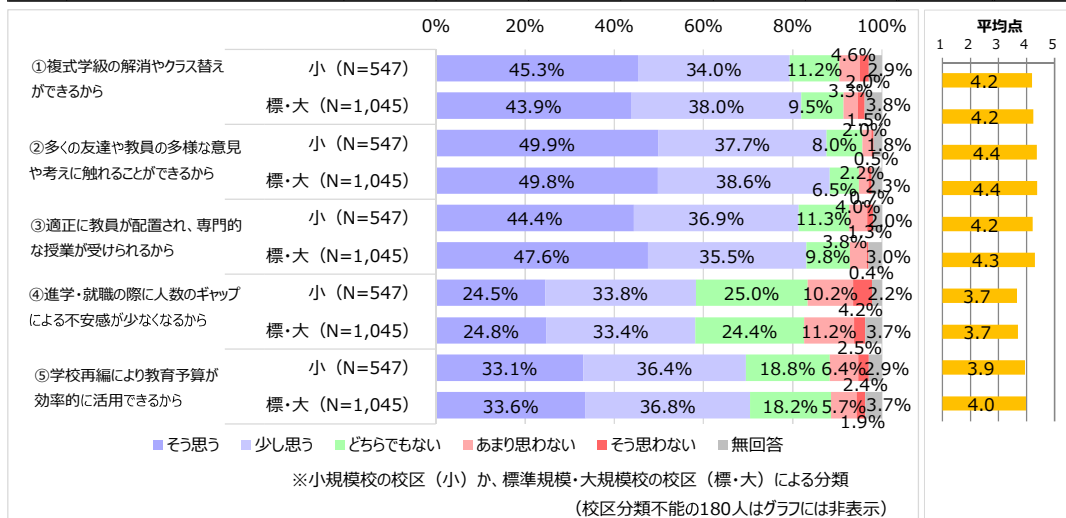
問４－３とのクロス集計

問４－３ 問４－１で、「２」の「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。」、または「３」の「市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。」を選択した理由として、①～⑤の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（１つに○）

問４－３－１） 回答者が居住する校区の小学校の学校規模別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる小学校校区が、令和２年時点で小規模校（１１学級以下）の校区か、または標準規模校（１２～１８学級）か大規模校（１９学級以上）の校区か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

項目	回答数						回答者総数 (無回答除く)	平均点 (無回答除く)
	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小規模校の校区	①複式学級の解消やクラス替えができるから (45.3%)	186 (34.0%)	61 (11.2%)	25 (4.6%)	11 (2.0%)	16 (2.9%)	547 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから (49.9%)	206 (37.7%)	44 (8.0%)	11 (2.0%)	3 (0.5%)	10 (1.8%)	547 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから (44.4%)	202 (36.9%)	62 (11.3%)	22 (4.0%)	7 (1.3%)	11 (2.0%)	547 (100%)	4.2
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから (24.5%)	185 (33.8%)	137 (25.0%)	56 (10.2%)	23 (4.2%)	12 (2.2%)	547 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから (33.1%)	199 (36.4%)	103 (18.8%)	35 (6.4%)	13 (2.4%)	16 (2.9%)	547 (100%)	3.9
標準規模校の校区	①複式学級の解消やクラス替えができるから (43.9%)	397 (38.0%)	99 (9.5%)	34 (3.3%)	16 (1.5%)	40 (3.8%)	1,045 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから (49.8%)	403 (38.6%)	68 (6.5%)	23 (2.2%)	7 (0.7%)	24 (2.3%)	1,045 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから (47.6%)	371 (35.5%)	102 (9.8%)	40 (3.8%)	4 (0.4%)	31 (3.0%)	1,045 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから (24.8%)	349 (33.4%)	255 (24.4%)	117 (11.2%)	26 (2.5%)	39 (3.7%)	1,045 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから (33.6%)	385 (36.8%)	190 (18.2%)	60 (5.7%)	20 (1.9%)	39 (3.7%)	1,045 (100%)	4.0
校区分類不能	①複式学級の解消やクラス替えができるから (36.1%)	68 (37.8%)	30 (16.7%)	5 (2.8%)	2 (1.1%)	10 (5.6%)	180 (100%)	4.1
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから (47.2%)	65 (36.1%)	17 (9.4%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)	9 (5.0%)	180 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから (40.0%)	60 (33.3%)	32 (17.8%)	8 (4.4%)	1 (0.6%)	7 (3.9%)	180 (100%)	4.1
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから (23.9%)	63 (35.0%)	38 (21.1%)	23 (12.8%)	4 (2.2%)	9 (5.0%)	180 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから (32.8%)	63 (35.0%)	30 (16.7%)	13 (7.2%)	5 (2.8%)	10 (5.6%)	180 (100%)	3.9
市全域	①複式学級の解消やクラス替えができるから (43.6%)	651 (36.7%)	190 (10.7%)	64 (3.6%)	29 (1.6%)	66 (3.7%)	1,772 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから (49.5%)	674 (38.0%)	129 (7.3%)	38 (2.1%)	10 (0.6%)	43 (2.4%)	1,772 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから (45.8%)	633 (35.7%)	196 (11.1%)	70 (4.0%)	12 (0.7%)	49 (2.8%)	1,772 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから (24.6%)	597 (33.7%)	430 (24.3%)	196 (11.1%)	53 (3.0%)	60 (3.4%)	1,772 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから (33.4%)	647 (36.5%)	323 (18.2%)	108 (6.1%)	38 (2.1%)	65 (3.7%)	1,772 (100%)	4.0

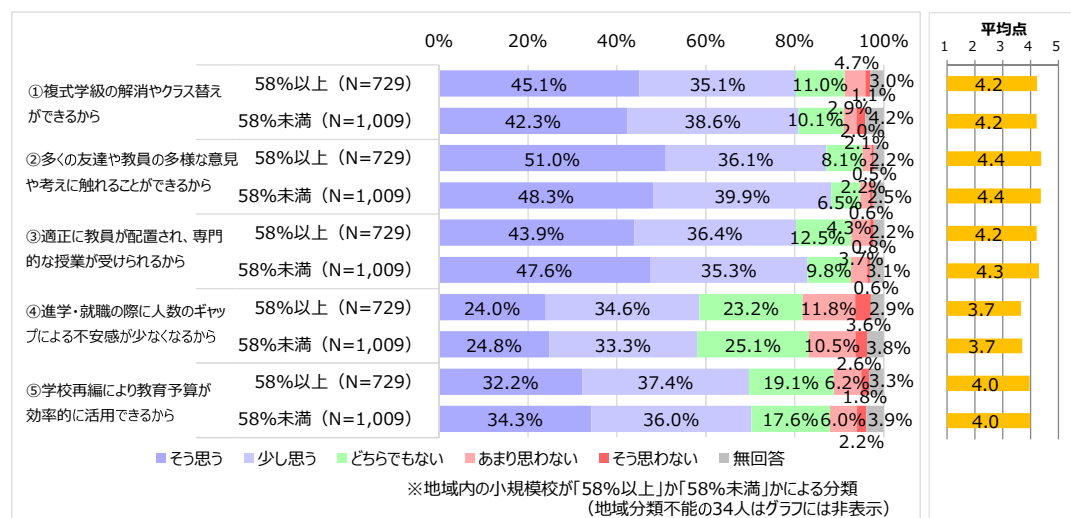


※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問４－３－２） 回答者が居住する地域生活圏内の小規模小学校の割合別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる地域生活圏について、令和２年時点で小規模小学校の割合が５８％（富山市全体における小規模校の割合）以上の地域か、５８％未満の地域か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

	項目	回答数						回答者総数	平均点 (無回答除く)
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小規模校が５８％以上の地域	①複式学級の解消やクラス替えができるから	329 (45.1%)	256 (35.1%)	80 (11.0%)	34 (4.7%)	8 (1.1%)	22 (3.0%)	729 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	372 (51.0%)	263 (36.1%)	59 (8.1%)	15 (2.1%)	4 (0.5%)	16 (2.2%)	729 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	320 (43.9%)	265 (36.4%)	91 (12.5%)	31 (4.3%)	6 (0.8%)	16 (2.2%)	729 (100%)	4.2
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	175 (24.0%)	252 (34.6%)	169 (23.2%)	86 (11.8%)	26 (3.6%)	21 (2.9%)	729 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	235 (32.2%)	273 (37.4%)	139 (19.1%)	45 (6.2%)	13 (1.8%)	24 (3.3%)	729 (100%)	4.0
小規模校が５８％未満の地域	①複式学級の解消やクラス替えができるから	427 (42.3%)	389 (38.6%)	102 (10.1%)	29 (2.9%)	20 (2.0%)	42 (4.2%)	1,009 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	487 (48.3%)	403 (39.9%)	66 (6.5%)	22 (2.2%)	6 (0.6%)	25 (2.5%)	1,009 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	480 (47.6%)	356 (35.3%)	99 (9.8%)	37 (3.7%)	6 (0.6%)	31 (3.1%)	1,009 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	250 (24.8%)	336 (33.3%)	253 (25.1%)	106 (10.5%)	26 (2.6%)	38 (3.8%)	1,009 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	346 (34.3%)	363 (36.0%)	178 (17.6%)	61 (6.0%)	22 (2.2%)	39 (3.9%)	1,009 (100%)	4.0
地域分類不能	①複式学級の解消やクラス替えができるから	16 (47.1%)	6 (17.6%)	8 (23.5%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	2 (5.9%)	34 (100%)	4.1
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	19 (55.9%)	8 (23.5%)	4 (11.8%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	34 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	12 (35.3%)	12 (35.3%)	6 (17.6%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	34 (100%)	4.1
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	11 (32.4%)	9 (26.5%)	8 (23.5%)	4 (11.8%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	34 (100%)	3.8
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	10 (29.4%)	11 (32.4%)	6 (17.6%)	2 (5.9%)	3 (8.8%)	2 (5.9%)	34 (100%)	3.7
市全体	①複式学級の解消やクラス替えができるから	772 (43.6%)	651 (36.7%)	190 (10.7%)	64 (3.6%)	29 (1.6%)	66 (3.7%)	1,772 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	878 (49.5%)	674 (38.0%)	129 (7.3%)	38 (2.1%)	10 (0.6%)	43 (2.4%)	1,772 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	812 (45.8%)	633 (35.7%)	196 (11.1%)	70 (4.0%)	12 (0.7%)	49 (2.8%)	1,772 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	436 (24.6%)	597 (33.7%)	430 (24.3%)	196 (11.1%)	53 (3.0%)	60 (3.4%)	1,772 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	591 (33.4%)	647 (36.5%)	323 (18.2%)	108 (6.1%)	38 (2.1%)	65 (3.7%)	1,772 (100%)	4.0

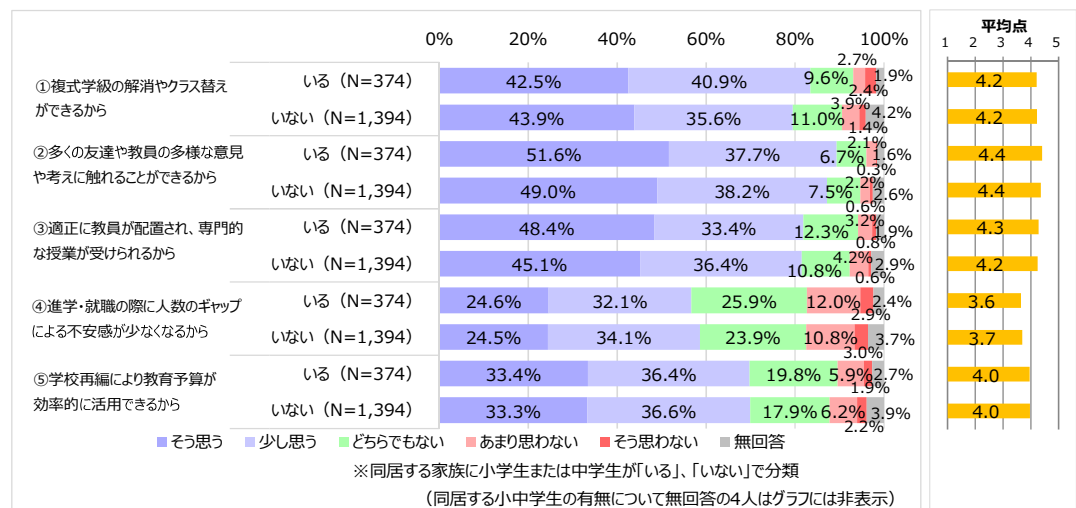


※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問４－３－３） 回答者が同居する家族における小中学生の有無による集計

ここでは、問１－５（回答者が同居する未就学児～高校生の有無に関する質問）に基づき、回答者が同居する家族に小学生または中学生がいるか、小学生も中学生もいないか、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

	項目	回答数						回答者総数	平均点 (無回答除く)
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり 思わない	そう思わない	無回答		
小中学生が いる	①複式学級の解消やクラス替えができるから	159 (42.5%)	153 (40.9%)	36 (9.6%)	10 (2.7%)	9 (2.4%)	7 (1.9%)	374 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	193 (51.6%)	141 (37.7%)	25 (6.7%)	8 (2.1%)	1 (0.3%)	6 (1.6%)	374 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	181 (48.4%)	125 (33.4%)	46 (12.3%)	12 (3.2%)	3 (0.8%)	7 (1.9%)	374 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	92 (24.6%)	120 (32.1%)	97 (25.9%)	45 (12.0%)	11 (2.9%)	9 (2.4%)	374 (100%)	3.6
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	125 (33.4%)	136 (36.4%)	74 (19.8%)	22 (5.9%)	7 (1.9%)	10 (2.7%)	374 (100%)	4.0
小中学生が いない	①複式学級の解消やクラス替えができるから	612 (43.9%)	496 (35.6%)	154 (11.0%)	54 (3.9%)	20 (1.4%)	58 (4.2%)	1,394 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	683 (49.0%)	532 (38.2%)	104 (7.5%)	30 (2.2%)	9 (0.6%)	36 (2.6%)	1,394 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	629 (45.1%)	507 (36.4%)	150 (10.8%)	58 (4.2%)	9 (0.6%)	41 (2.9%)	1,394 (100%)	4.2
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	341 (24.5%)	476 (34.1%)	333 (23.9%)	151 (10.8%)	42 (3.0%)	51 (3.7%)	1,394 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	464 (33.3%)	510 (36.6%)	249 (17.9%)	86 (6.2%)	31 (2.2%)	54 (3.9%)	1,394 (100%)	4.0
の同居 無にする 小中 無回答	①複式学級の解消やクラス替えができるから	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100%)	4.3
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100%)	4.7
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100%)	4.7
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100%)	4.8
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100%)	4.7
回答者 全体	①複式学級の解消やクラス替えができるから	772 (43.6%)	651 (36.7%)	190 (10.7%)	64 (3.6%)	29 (1.6%)	66 (3.7%)	1,772 (100%)	4.2
	②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	878 (49.5%)	674 (38.0%)	129 (7.3%)	38 (2.1%)	10 (0.6%)	43 (2.4%)	1,772 (100%)	4.4
	③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	812 (45.8%)	633 (35.7%)	196 (11.1%)	70 (4.0%)	12 (0.7%)	49 (2.8%)	1,772 (100%)	4.3
	④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	436 (24.6%)	597 (33.7%)	430 (24.3%)	196 (11.1%)	53 (3.0%)	60 (3.4%)	1,772 (100%)	3.7
	⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	591 (33.4%)	647 (36.5%)	323 (18.2%)	108 (6.1%)	38 (2.1%)	65 (3.7%)	1,772 (100%)	4.0



※平均点：回答を点数化（そう思う=5、少し思う=4、どちらでもない=3、あまり思わない=2、そう思わない=1）し、加重平均点を算出。

問４－４とのクロス集計

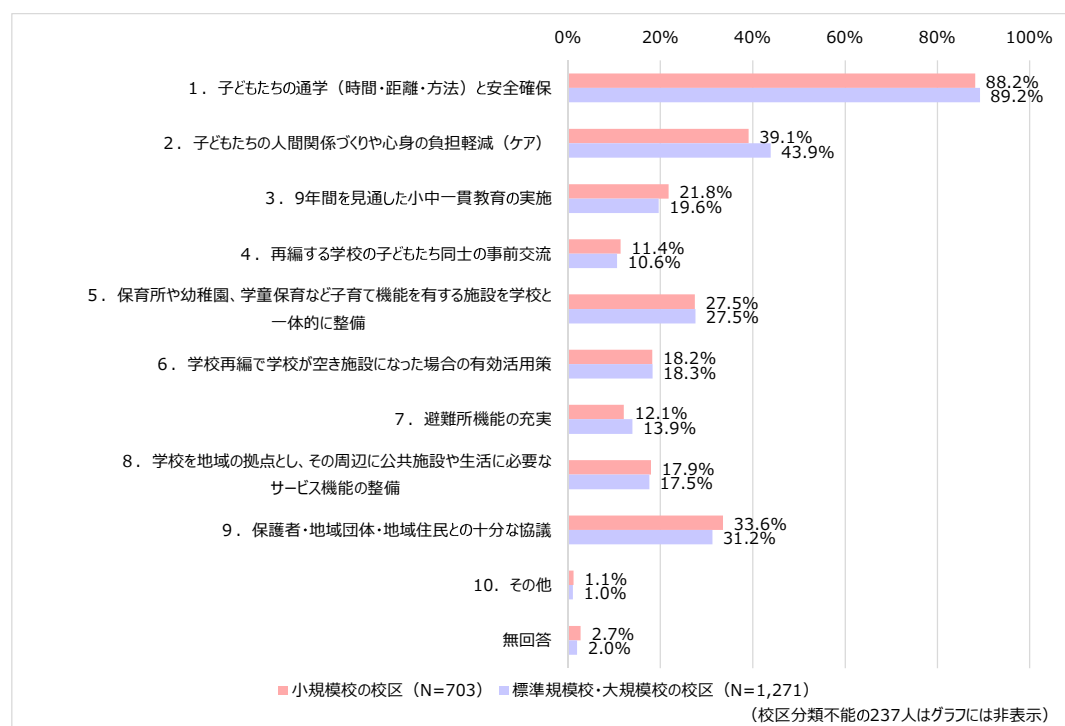
問４－４ 学校再編を進めるには、どのような点に配慮すべきと思われますか。（最大３つまで○）

問４－４－１） 回答者が居住する校区の小学校の学校規模別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる小学校区が、令和２年時点で小規模校（11 学級以下）の校区か、または標準規模校（12～18 学級）か大規模校（19 学級以上）の校区か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

（複数回答・最大３つまで）

選択肢	小規模校の校区 (N=703)	標準規模校・ 大規模校の校区 (N=1,271)	校区分類不能 (N=237)	市全域 (N=2,211)
１．子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保	620 (88.2%)	1,134 (89.2%)	197 (83.1%)	1,951 (88.2%)
２．子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）	275 (39.1%)	558 (43.9%)	103 (43.5%)	936 (42.3%)
３．９年間を見通した小中一貫教育の実施	153 (21.8%)	249 (19.6%)	43 (18.1%)	445 (20.1%)
４．再編する学校の子どもたち同士の事前交流	80 (11.4%)	135 (10.6%)	25 (10.5%)	240 (10.9%)
５．保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備	193 (27.5%)	350 (27.5%)	56 (23.6%)	599 (27.1%)
６．学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策	128 (18.2%)	232 (18.3%)	54 (22.8%)	414 (18.7%)
７．避難所機能の充実	85 (12.1%)	177 (13.9%)	25 (10.5%)	287 (13.0%)
８．学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の整備	126 (17.9%)	223 (17.5%)	37 (15.6%)	386 (17.5%)
９．保護者・地域団体・地域住民との十分な協議	236 (33.6%)	397 (31.2%)	75 (31.6%)	708 (32.0%)
１０．その他	8 (1.1%)	13 (1.0%)	3 (1.3%)	24 (1.1%)
無回答	19 (2.7%)	25 (2.0%)	15 (6.3%)	59 (2.7%)
回答者総数	703	1,271	237	2,211

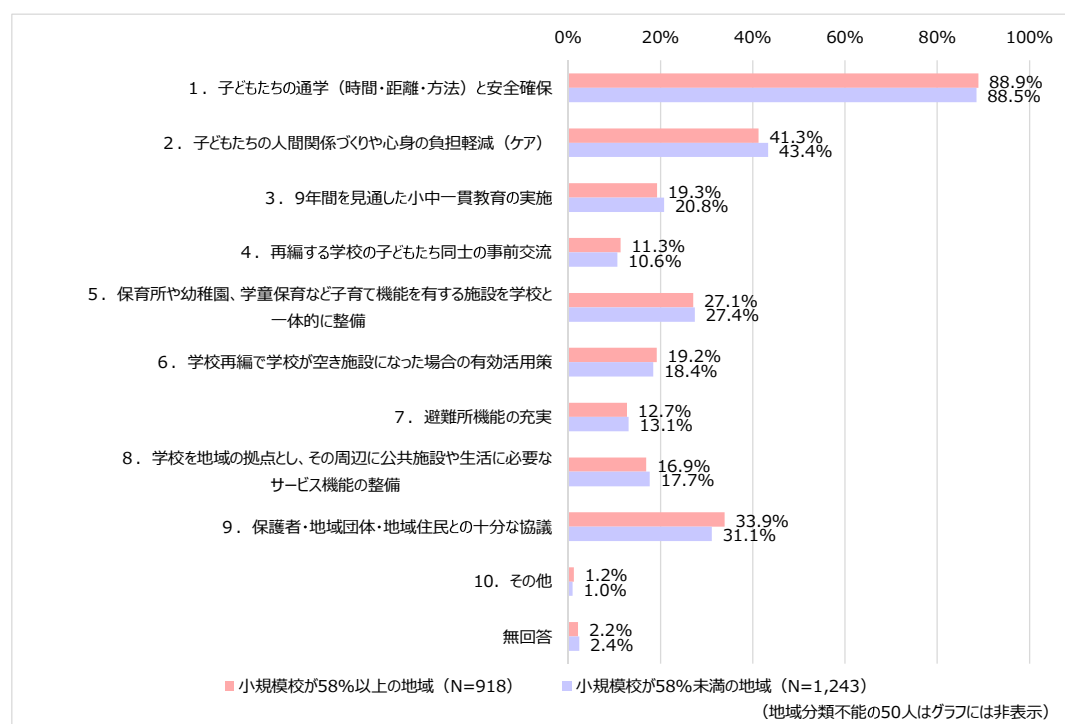


問４－４－２） 回答者が居住する地域生活圏内の小規模小学校の割合別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる地域生活圏について、令和２年時点で小規模小学校の割合が５８％（富山市全体における小規模校の割合）以上の地域か、５８％未満の地域か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(複数回答・最大３つまで)

選択肢	小規模校が58%以上の地域 (N=918)	小規模校が58%未満の地域 (N=1,243)	地域分類不能 (N=50)	市全域 (N=2,211)
１．子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保	816 (88.9%)	1,100 (88.5%)	35 (70.0%)	1,951 (88.2%)
２．子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）	379 (41.3%)	539 (43.4%)	18 (36.0%)	936 (42.3%)
３．９年間を見通した小中一貫教育の実施	177 (19.3%)	258 (20.8%)	10 (20.0%)	445 (20.1%)
４．再編する学校の子どもたち同士の事前交流	104 (11.3%)	132 (10.6%)	4 (8.0%)	240 (10.9%)
５．保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備	249 (27.1%)	341 (27.4%)	9 (18.0%)	599 (27.1%)
６．学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策	176 (19.2%)	229 (18.4%)	9 (18.0%)	414 (18.7%)
７．避難所機能の充実	117 (12.7%)	163 (13.1%)	7 (14.0%)	287 (13.0%)
８．学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の整備	155 (16.9%)	220 (17.7%)	11 (22.0%)	386 (17.5%)
９．保護者・地域団体・地域住民との十分な協議	311 (33.9%)	387 (31.1%)	10 (20.0%)	708 (32.0%)
10. その他	11 (1.2%)	12 (1.0%)	1 (2.0%)	24 (1.1%)
無回答	20 (2.2%)	30 (2.4%)	9 (18.0%)	59 (2.7%)
回答者総数	918	1,243	50	2,211

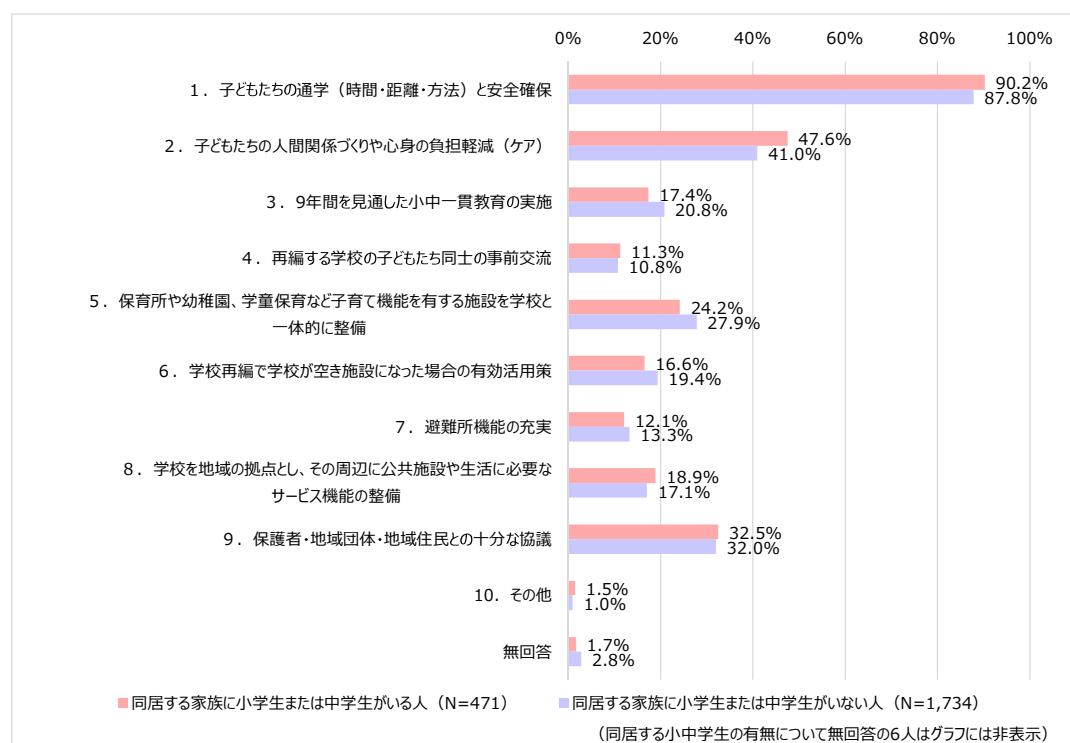


問４－４－３） 回答者が同居する家族における小中学生の有無による集計

ここでは、問１－５（回答者が同居する未就学児～高校生の有無に関する質問）に基づき、回答者が同居する家族に小学生または中学生がいるか、小学生も中学生もいないか、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(複数回答・最大３つまで)

選択肢	同居する家族に 小中学生がいる人 (N=471)	同居する家族に 小中学生がいない人 (N=1,734)	同居する小中学生 の有無について無回答 (N=6)	回答者全体 (N=2,211)
１．子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保	425 (90.2%)	1,523 (87.8%)	3 (50.0%)	1,951 (88.2%)
２．子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）	224 (47.6%)	711 (41.0%)	1 (16.7%)	936 (42.3%)
３．９年間を見通した小中一貫教育の実施	82 (17.4%)	361 (20.8%)	2 (33.3%)	445 (20.1%)
４．再編する学校の子どもたち同士の事前交流	53 (11.3%)	187 (10.8%)	0 (0.0%)	240 (10.9%)
５．保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備	114 (24.2%)	483 (27.9%)	2 (33.3%)	599 (27.1%)
６．学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策	78 (16.6%)	336 (19.4%)	0 (0.0%)	414 (18.7%)
７．避難所機能の充実	57 (12.1%)	230 (13.3%)	0 (0.0%)	287 (13.0%)
８．学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の整備	89 (18.9%)	296 (17.1%)	1 (16.7%)	386 (17.5%)
９．保護者・地域団体・地域住民との十分な協議	153 (32.5%)	555 (32.0%)	0 (0.0%)	708 (32.0%)
10. その他	7 (1.5%)	17 (1.0%)	0 (0.0%)	24 (1.1%)
無回答	8 (1.7%)	49 (2.8%)	2 (33.3%)	59 (2.7%)
回答者総数	471	1,734	6	2,211



問5とのクロス集計

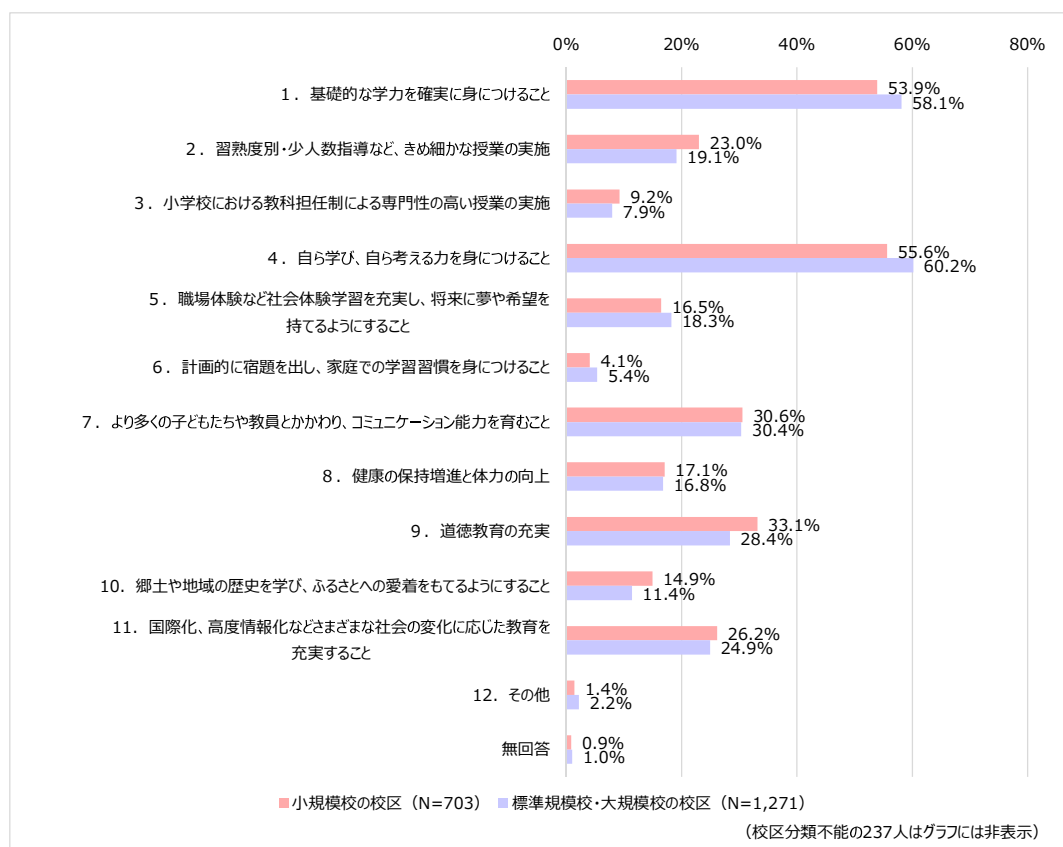
今後、学校再編を進めるにあたって、学校教育で特に力を入れてほしいこと、これから取り組んでほしいことを教えてください。
(最大3つまで○)

問5-1) 回答者が居住する校区の小学校の学校規模別による集計

ここでは、問1-4(回答者の居住地に関する質問)に基づき、回答者の居住地が含まれる小学校区が、令和2年時点で小規模校(11学級以下)の校区か、または標準規模校(12~18学級)か大規模校(19学級以上)の校区か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(複数回答・最大3つまで)

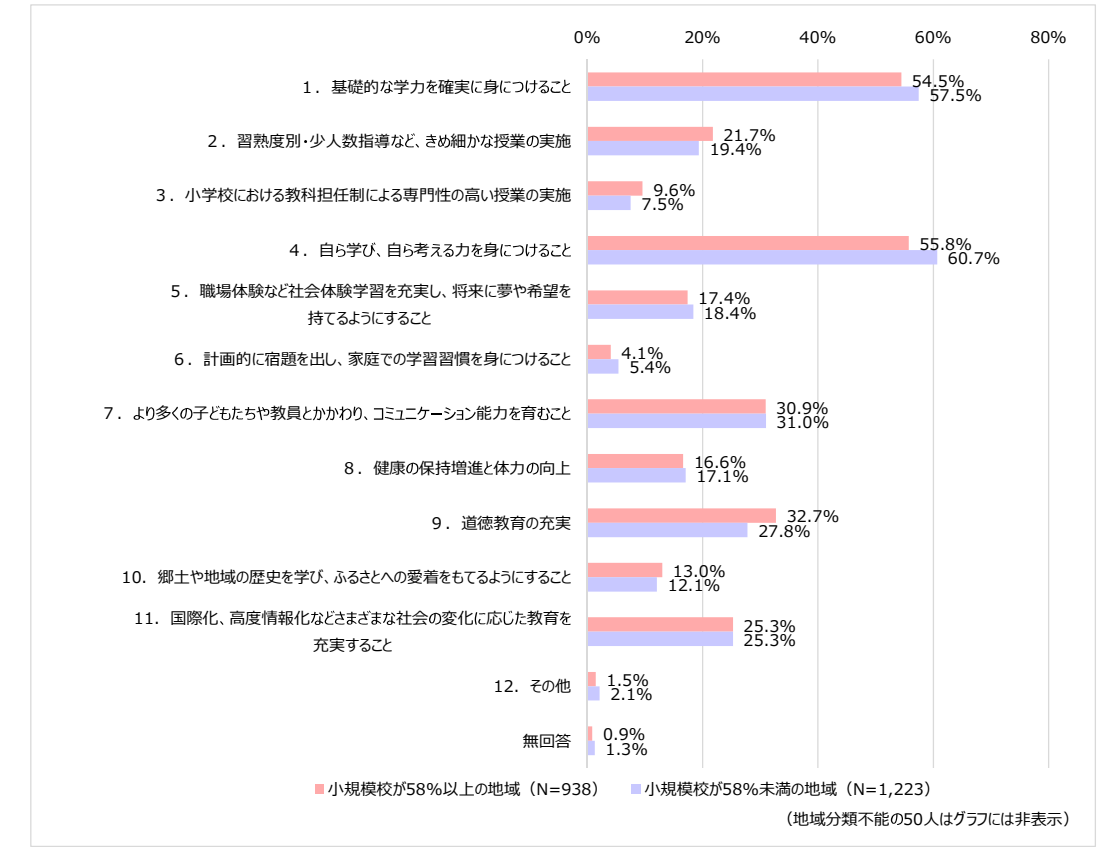
選択肢	小規模校の校区 (N=703)	標準規模校・ 大規模校の校区 (N=1,271)	校区分類不能 (N=237)	市全域 (N=2,211)
1. 基礎的な学力を確実に身につけること	379 (53.9%)	739 (58.1%)	119 (50.2%)	1,237 (55.9%)
2. 習熟度別・少人数指導など、きめ細かな授業の実施	162 (23.0%)	243 (19.1%)	46 (19.4%)	451 (20.4%)
3. 小学校における教科担任制による専門性の高い授業の実施	65 (9.2%)	101 (7.9%)	20 (8.4%)	186 (8.4%)
4. 自ら学び、自ら考える力を身につけること	391 (55.6%)	765 (60.2%)	130 (54.9%)	1,286 (58.2%)
5. 職場体験など社会体験学習を充実し、将来に夢や希望を持てるようにすること	116 (16.5%)	232 (18.3%)	50 (21.1%)	398 (18.0%)
6. 計画的に宿題を出し、家庭での学習習慣を身につけること	29 (4.1%)	68 (5.4%)	10 (4.2%)	107 (4.8%)
7. より多くの子どもたちや教員とかわり、コミュニケーション能力を育むこと	215 (30.6%)	386 (30.4%)	80 (33.8%)	681 (30.8%)
8. 健康の保持増進と体力の向上	120 (17.1%)	214 (16.8%)	42 (17.7%)	376 (17.0%)
9. 道德教育の充実	233 (33.1%)	361 (28.4%)	68 (28.7%)	662 (29.9%)
10. 郷土や地域の歴史を学び、ふるさとへの愛着をもてるようにすること	105 (14.9%)	145 (11.4%)	23 (9.7%)	273 (12.3%)
11. 国際化、高度情報化などさまざまな社会の変化に応じた教育を充実すること	184 (26.2%)	317 (24.9%)	53 (22.4%)	554 (25.1%)
12. その他	10 (1.4%)	28 (2.2%)	2 (0.8%)	40 (1.8%)
無回答	6 (0.9%)	13 (1.0%)	12 (5.1%)	31 (1.4%)
回答者総数	703	1,271	237	2,211



問５－２） 回答者が居住する地域生活圏内の小規模小学校の割合別による集計

ここでは、問１－４（回答者の居住地に関する質問）に基づき、回答者の居住地が含まれる地域生活圏について、令和２年時点で小規模小学校の割合が５８％（富山市全体における小規模校の割合）以上の地域か、５８％未満の地域か、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(複数回答・最大３つまで)				
選択肢	小規模校が58%以上の地域 (N=918)	小規模校が58%未満の地域 (N=1,243)	地域分類不能 (N=50)	市全域 (N=2,211)
１．基礎的な学力を確実に身につけること	500 (54.5%)	714 (57.4%)	23 (46.0%)	1,237 (55.9%)
２．習熟度別・少人数指導など、きめ細かな授業の実施	200 (21.8%)	241 (19.4%)	10 (20.0%)	451 (20.4%)
３．小学校における教科担任制による専門性の高い授業の実施	87 (9.5%)	95 (7.6%)	4 (8.0%)	186 (8.4%)
４．自ら学び、自ら考える力を身につけること	511 (55.7%)	754 (60.7%)	21 (42.0%)	1286 (58.2%)
５．職場体験など社会体験学習を充実し、将来に夢や希望を持てるようにすること	156 (17.0%)	232 (18.7%)	10 (20.0%)	398 (18.0%)
６．計画的に宿題を出し、家庭での学習習慣を身につけること	36 (3.9%)	68 (5.5%)	3 (6.0%)	107 (4.8%)
７．より多くの子どもたちや教員とかわかり、コミュニケーション能力を育むこと	285 (31.0%)	384 (30.9%)	12 (24.0%)	681 (30.8%)
８．健康の保持増進と体力の向上	154 (16.8%)	211 (17.0%)	11 (22.0%)	376 (17.0%)
９．道徳教育の充実	302 (32.9%)	345 (27.8%)	15 (30.0%)	662 (29.9%)
10．郷土や地域の歴史を学び、ふるさとへの愛着をもてるようにすること	121 (13.2%)	149 (12.0%)	3 (6.0%)	273 (12.3%)
11．国際化、高度情報化などさまざまな社会の変化に応じた教育を充実すること	231 (25.2%)	315 (25.3%)	8 (16.0%)	554 (25.1%)
12．その他	14 (1.5%)	26 (2.1%)	0 (0.0%)	40 (1.8%)
無回答	8 (0.9%)	16 (1.3%)	7 (14.0%)	31 (1.4%)
回答者総数	918	1,243	50	2,211

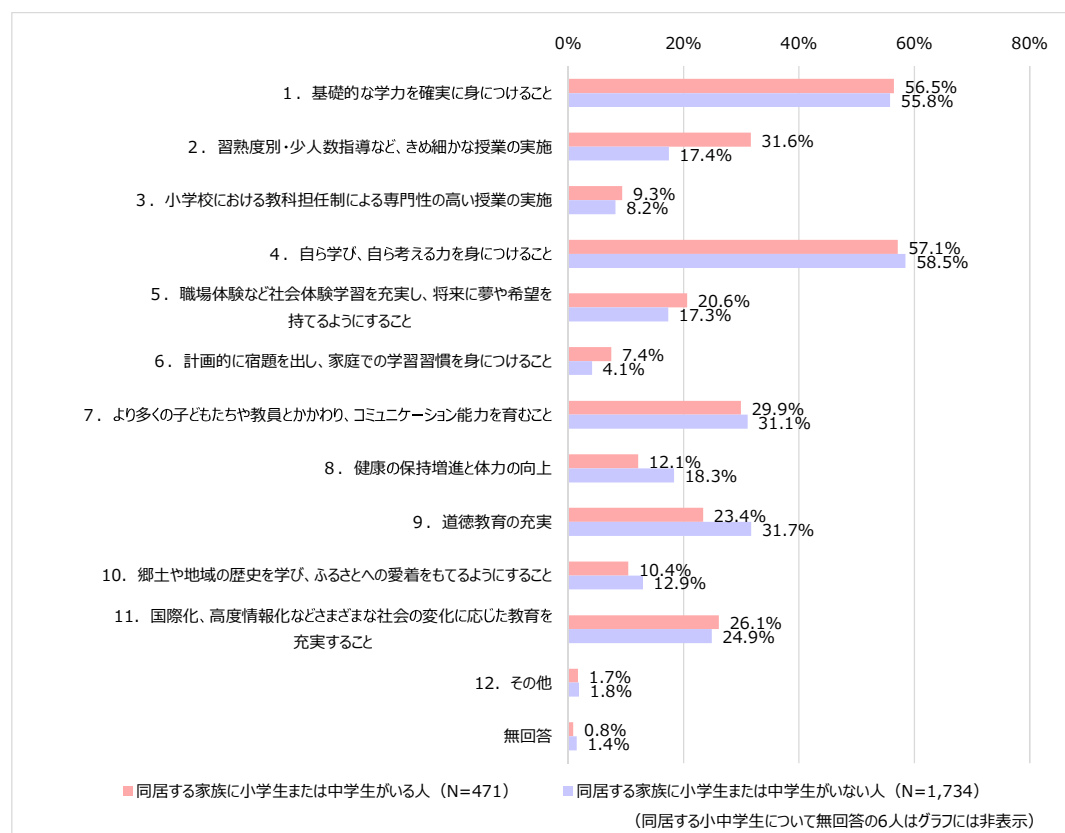


問５－３） 回答者が同居する家族における小中学生の有無による集計

ここでは、問１－５（回答者が同居する未就学児～高校生の有無に関する質問）に基づき、回答者が同居する家族に小学生または中学生がいるか、小学生も中学生もいないか、で回答者の属性を分けてクロス集計を行った。

(複数回答・最大３つまで)

選択肢	同居する家族に 小中学生がいる人 (N=471)	同居する家族に 小中学生がいない人 (N=1,734)	同居する小中学生に ついて無回答 (N=6)	回答者全体 (N=2,211)
１．基礎的な学力を確実に身につけること	266 (56.5%)	968 (55.8%)	3 (50.0%)	1,237 (55.9%)
２．習熟度別・少人数指導など、きめ細かな授業の実施	149 (31.6%)	302 (17.4%)	0 (0.0%)	451 (20.4%)
３．小学校における教科担任制による専門性の高い授業の実施	44 (9.3%)	142 (8.2%)	0 (0.0%)	186 (8.4%)
４．自ら学び、自ら考える力を身につけること	269 (57.1%)	1014 (58.5%)	3 (50.0%)	1286 (58.2%)
５．職場体験など社会体験学習を充実し、将来に夢や希望を持てるようにすること	97 (20.6%)	300 (17.3%)	1 (16.7%)	398 (18.0%)
６．計画的に宿題を出し、家庭での学習習慣を身につけること	35 (7.4%)	71 (4.1%)	1 (16.7%)	107 (4.8%)
７．より多くの子どもたちや教員とかわり、コミュニケーション能力を育むこと	141 (29.9%)	539 (31.1%)	1 (16.7%)	681 (30.8%)
８．健康の保持増進と体力の向上	57 (12.1%)	318 (18.3%)	1 (16.7%)	376 (17.0%)
９．道徳教育の充実	110 (23.4%)	550 (31.7%)	2 (33.3%)	662 (29.9%)
１０．郷土や地域の歴史を学び、ふるさとへの愛着をもてるようにすること	49 (10.4%)	224 (12.9%)	0 (0.0%)	273 (12.3%)
１１．国際化、高度情報化などさまざまな社会の変化に応じた教育を充実すること	123 (26.1%)	431 (24.9%)	0 (0.0%)	554 (25.1%)
１２．その他	8 (1.7%)	32 (1.8%)	0 (0.0%)	40 (1.8%)
無回答	4 (0.8%)	25 (1.4%)	2 (33.3%)	31 (1.4%)
回答者総数	471	1,734	6	2,211

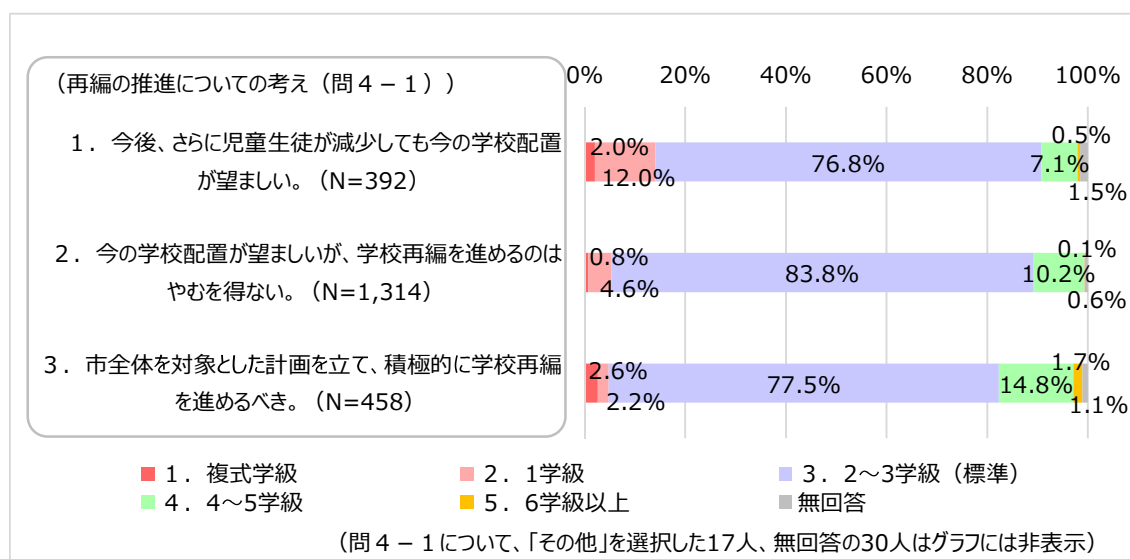


問 2 - 4 とのクロス集計

問 2 - 4 小学校では、1 学年あたりどの程度の学級数が適切だと思いますか。(1 つに○)

ここでは、問 4 - 1（再編の推進についての考えに関する質問）を軸に、回答者を分けてクロス集計を行った。

選択肢	(単回答)					回答者全体 (N=2,211)
	問 4 - 1 で「1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。」を選択した人 (N=392)	問 4 - 1 で「2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。」を選択した人 (N=1,314)	問 4 - 1 で「3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。」を選択した人 (N=458)	問 4 - 1 で「4. その他」を選択した人 (N=17)	問 4 - 1 について 無回答 (N=30)	
1. 複式学級	8 (2.0%)	10 (0.8%)	12 (2.6%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	31 (1.4%)
2. 1学級	47 (12.0%)	60 (4.6%)	10 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	118 (5.3%)
3. 2～3学級（標準）	301 (76.8%)	1,101 (83.8%)	355 (77.5%)	12 (70.6%)	17 (56.7%)	1,786 (80.8%)
4. 4～5学級	28 (7.1%)	134 (10.2%)	68 (14.8%)	3 (17.6%)	2 (6.7%)	235 (10.6%)
5. 6学級以上	2 (0.5%)	1 (0.1%)	8 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (0.5%)
無回答	6 (1.5%)	8 (0.6%)	5 (1.1%)	1 (5.9%)	10 (33.3%)	30 (1.4%)
回答者総数	392 (100%)	1,314 (100%)	458 (100%)	17 (100%)	30 (100%)	2,211 (100%)

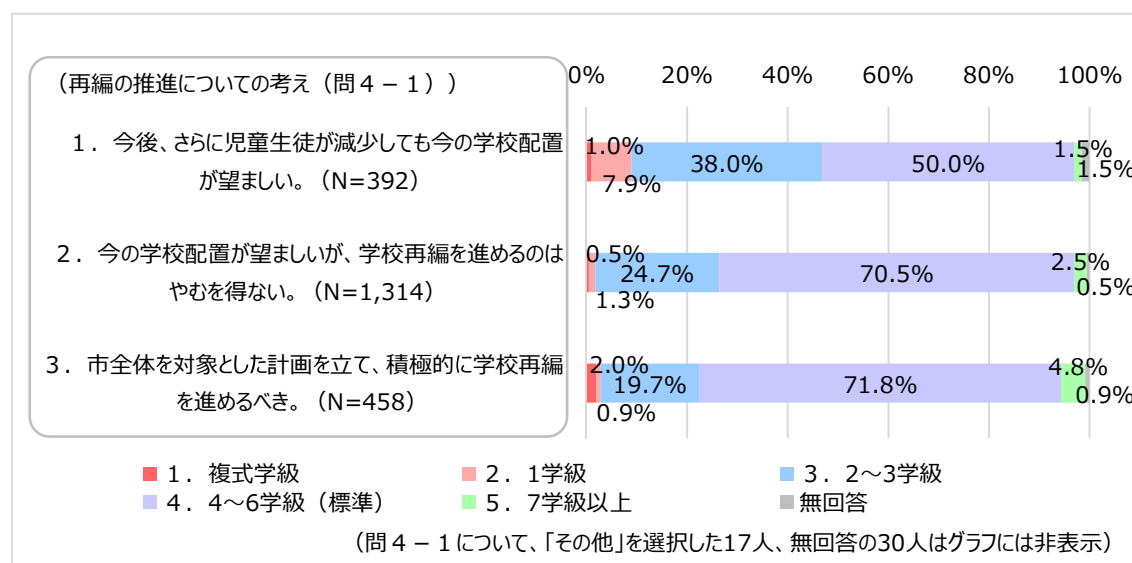


問2－5とのクロス集計

問2－5 中学校では、1学年あたりどの程度の学級数が適切だと思いますか。（1つに○）

ここでは、問4－1（再編の推進についての考えに関する質問）を軸に、回答者を分けてクロス集計を行った。

選択肢	(単回答)					回答者全体 (N=2,211)
	問4－1で「1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。」を選択した人 (N=392)	問4－1で「2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。」を選択した人 (N=1,314)	問4－1で「3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。」を選択した人 (N=458)	問4－1で「4. その他」を選択した人 (N=17)	問4－1について無回答 (N=30)	
1. 複式学級	4 (1.0%)	6 (0.5%)	9 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (0.9%)
2. 1学級	31 (7.9%)	17 (1.3%)	4 (0.9%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	53 (2.4%)
3. 2～3学級	149 (38.0%)	324 (24.7%)	90 (19.7%)	4 (23.5%)	9 (30.0%)	576 (26.1%)
4. 4～6学級（標準）	196 (50.0%)	927 (70.5%)	329 (71.8%)	11 (64.7%)	10 (33.3%)	1,473 (66.6%)
5. 7学級以上	6 (1.5%)	33 (2.5%)	22 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (2.8%)
無回答	6 (1.5%)	7 (0.5%)	4 (0.9%)	1 (5.9%)	11 (36.7%)	29 (1.3%)
回答者総数	392 (100%)	1,314 (100%)	458 (100%)	17 (100%)	30 (100%)	2,211 (100%)

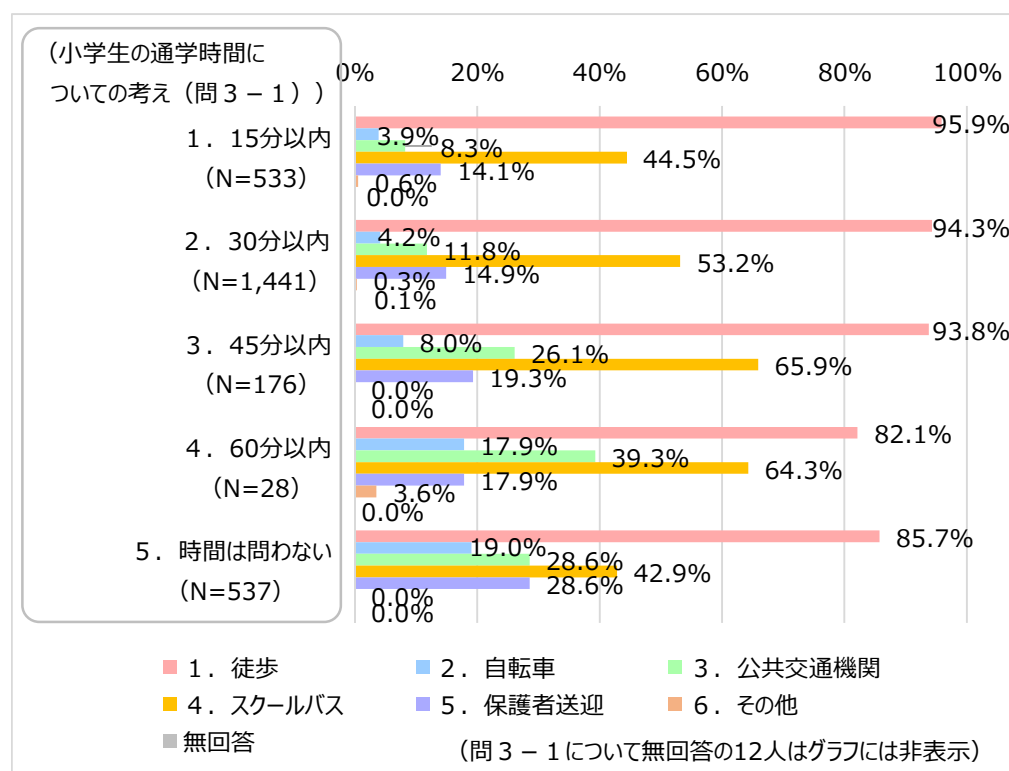


問3-2とのクロス集計

問3-2 小学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（望ましいと思うものすべてに○）

ここでは、問3-1（小学生の通学時間についての考えに関する質問）を軸に、回答者を分けてクロス集計を行った。

選択肢	(複数回答)						回答者全体 (N=2,211)
	問3-1で「1. 15分以内」を選択した人 (N=533)	問3-1で「2. 30分以内」を選択した人 (N=1,441)	問3-1で「3. 45分以内」を選択した人 (N=176)	問3-1で「4. 60分以内」を選択した人 (N=28)	問3-1で「5. 時間は問わない」を選択した人 (N=21)	問3-1について無回答 (N=12)	
1. 徒歩	511 (95.9%)	1,359 (94.3%)	165 (93.8%)	23 (82.1%)	18 (85.7%)	3 (25.0%)	2,079 (94.0%)
2. 自転車	21 (3.9%)	60 (4.2%)	14 (8.0%)	5 (17.9%)	4 (19.0%)	0 (0.0%)	104 (4.7%)
3. 公共交通機関	44 (8.3%)	170 (11.8%)	46 (26.1%)	11 (39.3%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	277 (12.5%)
4. スクールバス	237 (44.5%)	766 (53.2%)	116 (65.9%)	18 (64.3%)	9 (42.9%)	2 (16.7%)	1,148 (51.9%)
5. 保護者送迎	75 (14.1%)	215 (14.9%)	34 (19.3%)	5 (17.9%)	6 (28.6%)	1 (8.3%)	336 (15.2%)
6. その他	3 (0.6%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.4%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (75.0%)	10 (0.5%)
回答者総数	533	1,441	176	28	21	12	2,211



問3－4とのクロス集計

問3－4 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（望ましいと思うものすべてに○）

ここでは、問3－3（中学生の通学時間についての考えに関する質問）を軸に、回答者を分けてクロス集計を行った。

選択肢	(複数回答)						回答者全体 (N=2,211)
	問3－1で「1. 15分以内」を選択した人 (N=106)	問3－1で「2. 30分以内」を選択した人 (N=1,290)	問3－1で「3. 45分以内」を選択した人 (N=578)	問3－1で「4. 60分以内」を選択した人 (N=174)	問3－1で「5. 時間は問わない」を選択した人 (N=44)	問3－1について無回答 (N=19)	
1. 徒歩	93 (87.7%)	1,066 (82.6%)	483 (83.6%)	142 (81.6%)	33 (75.0%)	9 (47.4%)	1,826 (82.6%)
2. 自転車	70 (66.0%)	1,109 (86.0%)	513 (88.8%)	155 (89.1%)	38 (86.4%)	9 (47.4%)	1,894 (85.7%)
3. 公共交通機関	27 (25.5%)	367 (28.4%)	249 (43.1%)	102 (58.6%)	27 (61.4%)	4 (21.1%)	776 (35.1%)
4. スクールバス	37 (34.9%)	486 (37.7%)	249 (43.1%)	85 (48.9%)	16 (36.4%)	3 (15.8%)	876 (39.6%)
5. 保護者送迎	13 (12.3%)	131 (10.2%)	68 (11.8%)	35 (20.1%)	8 (18.2%)	1 (5.3%)	256 (11.6%)
6. その他	1 (0.9%)	10 (0.8%)	3 (0.5%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (0.7%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (47.4%)	10 (0.5%)
回答者総数	106	1,290	578	174	44	19	2,211

